Envirolet®コンポストトイレシステム
設置＆取扱説明書

本製品の正しい動作を保証するため、設置前に本説明書をよく読み、すべてのガイドラインに従ってください。

Sancor お問い合わせ先
アメリカ 1-800-387-5126
カナダ 1-800-387-5245
直通番号 +1 416 299 4818
電子メール support@sancor.ca
ウェブサイト sancor.ca

Envirolet®
envirolet.jp

製造元
Sancor Industries Ltd.
341 Marwood Drive
Oshawa, Ontario
L1H 7P8　Canada

ご記入ください:

型番 _____

シリアル番号 _____

購入日 _____

目次 - 重要な項目には★印がついています。

おめでとうございます **2**
はじめに: 設置前にお読みください **3**
安全ガイドライン **6**
準拠規格 **8**
Envirolet®:地球に優しい暮らしを応援します **9**
Envirolet®:堆肥化＆エアレーションプロセス **9**
システム/型番 **11**
保証 **15**
設置前に:箱と中身を点検してください **16**
箱の中身–部品リスト **17**
システム設置 **20**
Envirolet®無水独立システム設置 20
ENVIROLET®無水リモートシステムの設置 23
ENVIROLET®低水量リモートシステムの設置 29
Envirolet®フラッシュスマート VF 設置 36
排水と一般的排水ピットデザイン **47**
Envirolet®システムの冬期使用 **49**
Envirolet®無水独立＆無水リモート冬期使用 49
Envirolet®低水量リモート冬期使用 50
Envirolet®フラッシュスマート VF 冬期使用 51
規格容量–最大限の使用 **52**
使用＆ケア–システムのメンテナンス **54**
内部を空にする **63**
トラブルシューティング **67**
注意 **76**
利用者の声 **76**
細則 **76**

おめでとうございます

Sancor™社 Envirolet®コンポストトイレシステムのご購入ありがとうございます。本製品のご利用が環境保護と修復への第一歩です。

©2014, Sancor Industries Ltd.

はじめに: 設置前にお読みください。

設置準備をはじめましょう。

Envirolet®コンポストトイレシステムを設置する前に必ずお読みください。

これらのマークをご確認ください

本取扱説明書の⚠や⚠のマークをご確認ください。**重要な**ご案内や**注意事項が**記載されています。

⚠重要!設置前に本章を全てお読みください。

システムについて学ぶ

- 正常な動作には、システムの正しい設置、ご利用、そしてメンテナンスが不可欠です。
- Envirolet®システムを利用する全ての人に、正しい使用・メンテナンスの手順をご説明ください。
- Envirolet®コンポストトイレの取り扱い手順をきちんと守ることで、長年に渡って問題なくご使用いただけます。
- 「手順早見表」（省略版）は、システムの設置と使用方法を完全に理解した**後に**のみご利用ください。

ご不明な点はご連絡ください

- Envirolet®ご使用上の技術サポート（設置やご使用等）や修理、製品に関するサポートについては必ず弊社までご連絡ください。**最初に正しい手順を学ぶことが一番の近道です。**
- コンポストタイプのトイレは通常の水洗トイレシステムに比べて様々な違いがあります。

日本向けメモ

- Envirolet® AC モデルは日本用に 100V で動作します。
- Envirolet®システムは接地極（アース）付三又コンセントを使用します。

©2014, Sancor Industries Ltd.

重要な設置ガイドライン

Envirolet®コンポストトイレシステムを設置する**前に**設置ガイドラインを全て読んで手順を理解してください。

#	ガイドライン	チェックボックス ☑
1	**配達後、パッケージ**(箱)の中身を直ちにご確認ください。問題があった場合（壊れた部品や欠品など）は 24 時間以内にご連絡ください。	☐
2	Envirolet®コンポストトイレシステム**の** 安全ガイドラインと設置＆取扱説明に従ってご使用ください。システム設置にあたって他社製の部品は使用しないでください（リモートシステム排気用 4 インチ排気パイプ(PVC)およびリモートシステム排水用 3 インチ排水パイプ(ABS)を除く）。	☐
3	Envirolet®コンポストトイレシステムは**トイレの汚水**にのみご使用ください。**その他の排水**（シャワーやキッチンなどの汚水）はシステムに使用しないでください。	☐
4	システムの**容量**を守ってください。容量を超えてのご使用は性能に支障を生じる場合があります。容量一覧表をご参照ください。	☐
5	コンポストユニット/部品（レーキの下）の**ペーパーマット**は外さないでください。**これは梱包材ではありません。**システム立ち上げに必要な、重要な部品です。	☐
6	排気部の設置の際には角度を **90° にしたり折り曲げ**たりしないでください。この点は必ず守ってください。角度を 90° にすると排気システムに抵抗が生じ、空気の流れが滞ったり、乾燥がうまくいかず性能に支障が生じることがあります。 この、**90° に曲げない**という注意事項の図は説明書の各所に出てきます。	☐
7	ご使用のシステムに**排水口**（手前右下）がある場合は、適切な容器に接続するか下水処理施設に繋いでください（お住まいの地域の条例に従ってください）**コンポストユニットから下水処理施設へは重力供給によって流れるように接続してください。**無水 AC 電源システム（説明書通りにファンとヒーターを用いるもの）*を除く*全てのシステムは排水が必要です。	☐
8	12VDC あるいは 120VAC 電源システム（ファン 2 台付属）を設置する場合は、不要だと思われる場合であっても、**必ず説明書に従ってファンとヒーターを設置してください。**ファン付属システムは、ファンを使用することで適切に動作するよう設計されています。ファンを稼動させていないと、換気ラインに抵抗が生じて乾燥に時間がかかる場合があります。	☐
9	水量節約リモート、あるいはフラッシュスマート VF システムの場合、システムの逆流を防ぐため、**排水をコンポストシステムに**繋いでいない状態で**流す**テストを行ってください。	☐
10	冬期、あるいは零下、および零下に近い状態でシステム使用する場合は冬期使用ガイドライン（冬期使用の項目をご確認ください）に沿ってご使用ください。気温によって水が凍る場合があります。凍結防止の薬剤を使用しないと、コンポストに影響が出ることがあります。	☐
11	フラッシュスマート VF システムには同梱の水量調節システムを**必ず**設置してください。	☐

©2014, Sancor Industries Ltd.

12	**業者による設置:**システム設置を建設業者や配管・水道工事業者に委託する場合も、必ず説明書の指示に従い、不明な点は弊社にお尋ねください。 Envirolet®コンポストトイレシステムは*従来の*トイレシステムとは設置・使用方法共に異なります。	☐

システム設置業者向け説明（建築業者、配管工、水道工事業者その他）

これはコンポストトイレシステムであり、通常の水洗トイレとは設置方法が異なります。システム専用の特殊な換気・排水システムを用いています。本説明書をよく読んで、不明な点はお問い合わせください。設置方法を誤ると、性能に支障が出たり、修理する必要が生じたりします。

注意

- 同梱の専用換気・排水部品のみご使用ください。
- フラッシュスマート VF モデルについては**必ず同梱の水量調節システムと併用してください。**
- Envirolet®システムの換気・排水ラインを既存の換気・排水口に接続しないでください。
- 余剰の水分の排水が必要な場合はコンポストタンクから重力供給によって下水処理施設まで流れるようにしてください。
- コンポストタンクやその他屋外に設置する電気部品には保護用にカバーをつけ、外気温が低い際にユニットが凍らないよう暖房設備を用意するなどして調節してください。

お問い合わせ

その他の避けて戴きたい事項についてはトラブルシューティング&設置エラーの章をご確認ください。ご不明な点は弊社にお問い合わせください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

安全ガイドライン

重要な Envirolet®安全ガイドライン＆情報

はじめにお読みください。

本章を熟読し、ガイドラインを順守してください。システムの利用者全員に本ガイドラインを守るよう説明してください。

- 安全上の注意
- 火災の危険に関する注意
- AC 電源コード
- 120VAC 電動モデル
- 電気部品
- その他の重要な安全ガイドライン

安全上の注意

安全のため、設置を始める前に必ず安全ガイドラインを全て確認し、守ってください。

火災の危険に関する注意

火の点いた物や燃えている物をシステムに入れないでください。煙草や熱い灰、マッチ等、火災の危険のある全ての物質を含みます。システムに入れてはいけない物質については、ご使用&メンテナンスの章の「入れないでください」リストをご参照ください。.

ヨーロッパ

ヨーロッパでは、利用者への注意喚起のため火災防止注意ラベルをトイレの近くに貼付する必要があります。ラベルの例については以下をご覧ください。

WARNING!
Do not add glowing or burning materials to composting toilet system (cigarettes, matches, ashes, etc.) as this is a fire hazard.

VARNING!
Kast ikke glødende eller brennende materiale i kompostsystemet, da dette kan utgjøre en brannfare.

VARNING!
Kasta ej ej glödande eller brinnande material såsom cigarrettfimpar och aska i Komposttoalett-systemet. Detta kan utgöra en brandfara.

VAROITUS!
Älä heitä palavaa tai hehkuvaa materiaalia (tuhkaa, tupakantumppeja, yms.) kompostointijärjestelmään, koska tämä voi aiheuttaa palovaaran.

©2014, Sancor Industries Ltd.

AC 電源コード

Envirolet®システムの AC 電源コードは約 3m/9ft の長さです。電源コードはアース付のコンセント差込口（北米では 3 又）に差し込んでください。**電気部品の改造は危険であり、保証が適用されなくなります。**

120VAC 電動モデル

容器はご使用になる建物の主 N 電源ボックスの 120VAC、60hz、15 アンペアのヒューズに接続してください。延長コードは使用しないでください。**電源を切ったり延長したり配線しないでください。**電気部品の改造は危険であり、保証が適用されなくなります。

電気部品

電気部品は改造しないでください。電源コードの交換・付け替えは資格を持った電気工事業者に依頼してください。守らないと、危険な電気障害や火災を招いたり、保証が適用されなくなります。**電気部品の改造は危険であり、保証が適用されなくなります。**

その他の重要な安全ガイドライン

上記の注意事項をよく読み、守ってください。また、以下の安全ガイドラインもよく読み、守ってください。

#	安全ガイドライン	チェックボックス ☑
1	説明書の通りご使用ください。	☐
2	全ての Envirolet®製品および付属品（屋外の換気と排水部品を除く）は屋内（例：別荘、小屋、作業場、ガレージ等）に設置して、雨や雪、ホコリ、動物や破損、漏電その他の危険を排除し、システムを安全にご使用ください。	☐
3	システムの変更や改造については資格を持った電気工事業者に相談してください。	☐
4	Envirolet®コンポストユニットのメッシュ（よろい板）部品の開口部には何も置かないでください。通期が阻害され、コンポストプロセスに影響を及ぼしたりファンの破損に繋がることがあります。	☐
5	お子様やペットはバキューム発生機、電源ユニット、コンポストユニット/タンクやその他電気部品に近づけないでください。	☐
6	破損したコードやプラグを使用しないでください。すぐに交換してください。	☐
7	電源の交換や変更は資格のある電気工事業者に依頼してください。	☐
8	Sancor の交換部品のみご使用ください。	☐
9	システムの清掃には強い化学薬品を使用しないでください。コンポスト処理に影響を及ぼす危険があります。	☐
10	凍結防止剤は使用しないでください。コンポスト処理に影響を及ぼす危険があります。冬期、あるいは零下で使用する場合はオンライン取扱説明書の冬期使用の章をご確認ください。	☐

本取扱説明書はお手元に置いてください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

準拠規格

37 年の使用実績を誇る Envirolet®コンポストトイレシステムは以下の規格基準に準拠しています。

北米における規格認証

北米ではEnvirolet®コンポストトイレシステムはCSA（カナダ規格協会）によって、CSA ANSI/NSF基準41を含む様々な規格認証を取得しています。

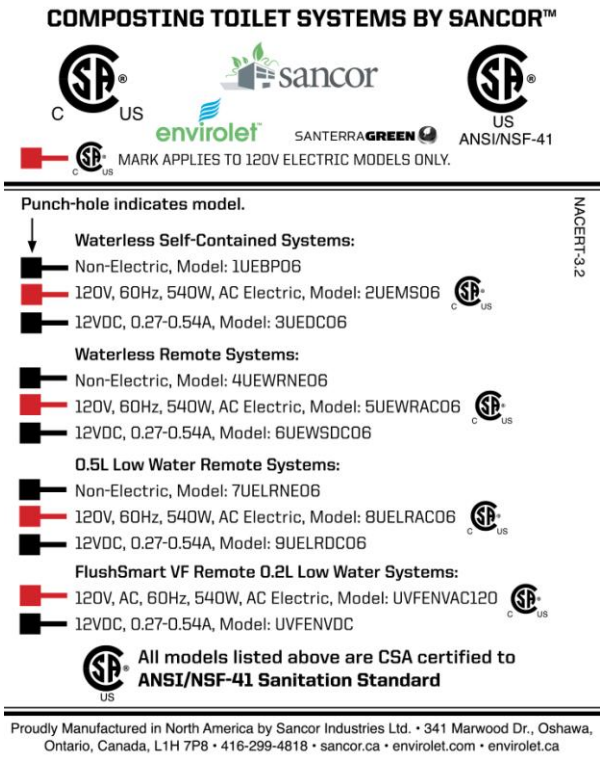
ANSI/NSF基準41は北米のほぼ全域におけるコンポストトイレシステムの性能基準です。この規格にはシステム容量レーティングも含まれます。

また、Envirolet®はCSA水道工事・電気工事基準の認証を取得しています。

ヨーロッパにおける規格認証

Envirolet®コンポストトイレシステムはヨーロッパ基準の準拠を示すCE規格認証を取得しています。

AC電動モデルはSemko認証を取得しています。



認証ラベルのデザインや外観は変更される場合があります。

お住まいの地域における規格認証についてはお近くの Sancor Industries Ltd.にお問い合わせください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®:地球に優しい暮らしを応援します

地球に優しい生活への第一歩おめでとうございます。Envirolet®をお買い求めの理由はなんであれ（設置の容易さ、経済性等）地球に優しいトイレへの道が始まります。

モダンで魅力的な

Envirolet®はどんなお手洗いにも似合う清潔でモダンなデザインです。地球に優しく、そしておしゃれに。

設置場所を選びません

Envirolet®は様々な場所に容易に設置できるため、ありとあらゆるシーンでの活用が実現できます。上・下・水平の自在なフラッシュアクション

エコフレンドリー

Envirolet®は環境に優しいトイレです。無水、0.5L の低水量、そして 0.2L 超低水量オプションで、堆肥化に加えて年間数万リットルの水が節約できます。燃焼や化学薬品は使用しません。

最新技術

Envirolet®には最も新しい環境トイレシステムである Envirolet®フラッシュスマート VF を含む様々な最新技術が利用されています。バキューム利用の 0.2L 超低水量トイレでは「アップ」「ダウン」そして「レベル」 といった自由自在なフラッシュアクションが実現できます。排泄物はバキューム発生機によって粉砕され空気を含ませることで（エアレーション）、堆肥化効率が向上します。

Envirolet®:堆肥化&エアレーションプロセス

Envirolet®自動 6 方向エアレーション™

堆肥化プロセスを理解することがシステムの正しいケアとメンテナンスの鍵です。全ての Envirolet®コンポストトイレシステムの原理は同一ですが、システムのタイプと動力によって異なる事項があります。*原理*

ステージ	プロセス
1	**外気取り込み** 外気は、無水システムではトイレシートから Envirolet®に取り込まれます。低水量リモートおよびフラッシュスマート VF システムでは、デュアルファン&通気によってサービスパネルから取り込まれます。
2	**空気が暖められます** 外気はユニットの裏側に設置されたブロワ—ファンによって取り込まれ、温度制御されたヒーター部に送られます。
3	**暖められた空気がパイプに送られます** 暖められた空気はブロワ—ファンによって下方向に送られ、パイプを通り、ユニット下のトレーエリアに送られます。
4	**Envirolet®自動 6 方向エアレーション™** 暖められた空気は通気ファンによって再度上方向に送られます。AC 電源および 12VDC モデル）これにより特許取得技術である自動 6 方向エアレーション™が発生し、暖められた空気はエアレーションバスケットで 6 方向（上下、前後、そして左右）から排泄物とコンポスト材料に当たります。このプロセスで最大限のエアレーションによって高速乾燥、そして堆肥化が促されます。
5	**乾燥** パワフルなデュアルファンシステムによって水分の高速乾燥が実現しました。水分は急速乾燥し、ウインドタービン換気装置あるいは V レインキャップから排気されます。
6	**コンポスト（堆肥化）** 残りの固形物（85-90%）は堆肥化に最適な、暖められた通気のよい環境に保持されます。添加物（ピートモス、堆肥化

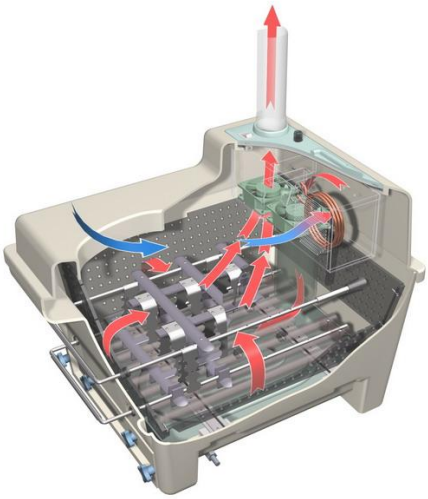
©2014, Sancor Industries Ltd.

促進剤）によって微生物による自然な堆肥化が進み、堆肥化プロセスが促進されます。

全 4 タイプにおける堆肥化プロセス詳細については弊社ウェブサイトをご参照ください。

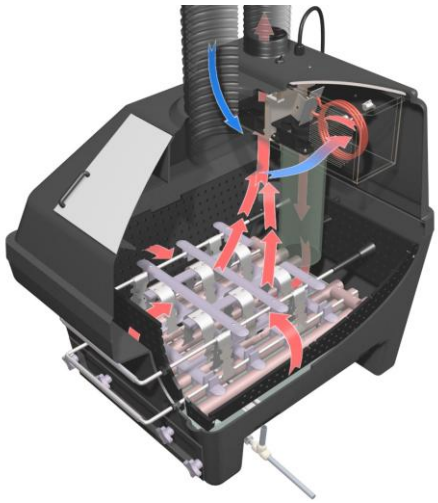
Envirolet®無水独立システム

トイレシートから空気が取り込まれます。便器とトラップの間に設けられたわずかな隙間から外気を取り込みます。



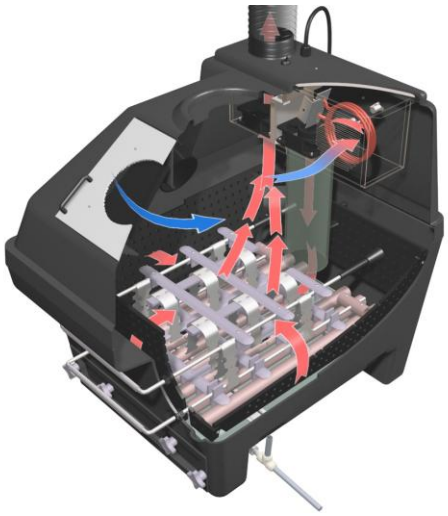
Envirolet®無水リモートシステム

トイレシートから外気が取り込まれます。



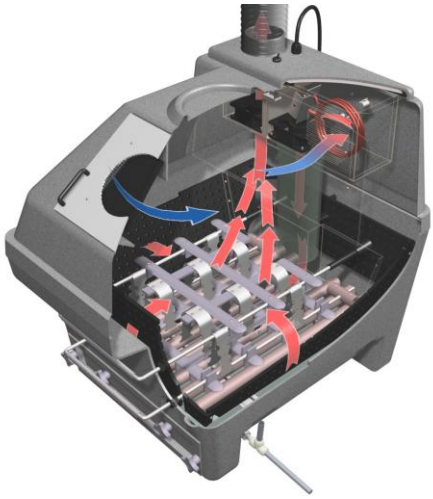
Envirolet®低水量リモートシステム

サービスパネルから外気が取り込まれます。



Envirolet®フラッシュスマート VF システム

サービスパネルから外気が取り込まれます。



©2014, Sancor Industries Ltd.

システム/型番

これらの取り扱い説明が当てはまる型番 **ご使用の型番に応じた取扱説明に従ってください。**

Envirolet®無水独立型モデル

水を使わないオールインワンモデル

電気不使用 Envirolet®ベーシックプラス(1UEBP06)
12VDC: Envirolet® DC12 (3UEDC06)
120VAC: Envirolet® MS10 (2UEMS06)

ENVIROLET®無水独立型(WSC)システムの設置

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®無水リモートモデル

無水、トイレ上部、タンク下部

電気不使用 Envirolet®無水リモートNE (4UEWRNE06)
12VDC: Envirolet®無水リモートDC (6UEWSDC06)
120VAC: Envirolet®無水リモートAC (5UEWRAC06)

ENVIROLET®無水リモートシステム(WRS)の設置

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®低水量リモートモデル

0.5L 弱重力フラッシュ、トイレ上部、タンク下部

電気不使用 Envirolet®低水量リモートNE (7UELRNE06)
12VDC: Envirolet®低水量リモートDC (9UELRDC06)
120VAC:Envirolet®低水量リモートAC (8UELRAC06)

ENVIROLET®低水量リモートシステム(LWRS)の設置

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®フラッシュスマート VF システム

0.2L 低バキュームフラッシュ、トイレとタンク別

120VAC: Envirolet®フラッシュスマートVF 300
120VAC: Envirolet®フラッシュスマートVF 700
120VAC: Envirolet®フラッシュスマートVF 800
12VDC: Envirolet®フラッシュスマートVF 320
12VDC: Envirolet®フラッシュスマートVF 720
12VDC: Envirolet®フラッシュスマートVF 820
120VAC: Envirolet®フラッシュスマートVF 350
120VAC: Envirolet®フラッシュスマートVF 750
120VAC: Envirolet®フラッシュスマートVF 850
12VDC: Envirolet®フラッシュスマートVF 370
12VDC: Envirolet®フラッシュスマートVF 770
12VDC: Envirolet®フラッシュスマートVF 870

ENVIROLET®フラッシュスマートVF (FSVF)システムの設置

フラッシュスマートモデルの違い

- **300、700 および 800 シリーズ**
  トイレ1基、コンポストユニット/タンク1基120VAC.
- **320、720 および 820 シリーズ**
  トイレ1基、コンポストユニット/タンク1基12VDC.
- **350、750 および 850 ダブルタンクシリーズ**
- トイレ1基、コンポストユニット/タンク2基120VAC.
- **370、770 および 870 ダブルタンクシリーズ**
  トイレ1基、コンポストユニット/タンク1基 12VDC.

フラッシュスマート・ダブルタンクモデル

説明書の通りご使用ください。正しい動作を保証するため、設置あるいはご使用の際にご質問がある場合は、必ずご連絡ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

保証

Envirolet®コンポストトイレシステムは、コンポストシステム外装の**生涯保証**と内部部品の **5 年間保証**が含まれます。取扱説明書の指示に従わない場合、保証が無効になることがあります。諸条件については保証カードをご確認ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

設置前に:箱と中身を点検してください

配達時に箱と中身を点検し、足りない部品がないか確認してください。

設置を始める前に本取扱説明書を読み、足りない部品や壊れた部品がないか確認してください。

⚠重要

設置を始める前に、システムおよび付属品の箱の中身を点検し、部品の欠品や破損は速やかにご連絡ください。

Envirolet®コンポストトイレシステムの設置を始める前に、次の重要事項をきちんと確認してください。

箱の中身を調べる

梱包の中身をただちに点検し、部品が全て揃っていることを確認してください。オプション部品を購入した場合は、それらも含まれていることを確認してください。

梱包を全て解き、梱包材は取り除いてください（ペーパーマットは取り除かないでください。下記参照）再度使用する可能性を考え、外箱類は可能な限り綺麗な状態で保管してください。本品に含まれる部品リストは箱に表示されています。

欠品等は直ちに報告してください。ご注文内容によって、商品が複数の箱で届く場合があります。また配達時期が異なる場合もあります。

ペーパーマットは外さないでください

コンポストユニットのペーパーマットは外さないでください。これは梱包材ではありません。システム立ち上げに必要な、重要な部品です。

破損チェック

配達の際に破損した部品や欠品については配達から24時間以内に購入店にご連絡ください。24時間以降のご報告については、配達による破損については配送業者にクレームを入れることができない場合があります。最新のお問い合わせ先情報はsancor.ca をご参照いただくか、お住まいの地域専用のEnvirolet®ウェブサイトをご参照ください：

envirolet.jp

⚠24 時間以降

壊れた部品や欠品などは24時間以内にご連絡ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

箱の中身-部品リスト

各システムタイプの部品リスト

ほぼ全てのモデル設置に必要な工具
設置が楽になる推奨工具

- ハンドドリル
- ジグソー
- スクリュードライバー（フィリップス皿ネジ）および、あるいはドリル
- 測鉛線（通気システムの位置揃え用）

準備はいいですか？
箱の中身を点検し、部品が揃っていることを確認してください。

⚠重要

欠品は直ちに購入店にご連絡ください。システムの配達にあたって複数の箱が別送される可能性があるため、全ての箱が届いていることを確認してください。

注意
お住まいの地域によって、基本のシステムキットに含まれない部品がある場合があります。

Envirolet®無水独立型システム部品&必要な工具

部品
Envirolet®無水独立型システムに含まれる部品は以下の通りです。

#	数量	単位	品名
1	1	各	Envirolet® コンポストユニット(120VAC電源、CSA電源)
2	10’/3m	長さ	3”/75mm通気パイプ（4 x 30”/76cmパーツに分割）
3	3	各	3”/75mm連結器
4	1	各	ラバールーフ雨よけ
5	1	各	シリコン封止剤チューブ（小）
6	1	各	プレミックス・スターターミックスキット（袋）
7	1	各	8oz/236mL コンポスト促進剤（瓶）
8	1	各	4”/110mmウィンドタービン・ベンチレータ
9	5’/152cm	長さ	½”/13mm排気・排水パイプ（ベーシックプラスおよびDC12モデルのみ）
10	1	各	デイリーミックス（サンプルサイズ）*ノルウェーでは含まれません*

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®無水リモートシステム部品&必要な工具

Envirolet®無水リモートシステム（標準システム）に含まれる部品

部品Envirolet®無水リモートシステムに含まれる部品は以下の通りです。

#	数量	単位	品名
1	1	各	無水トイレ説明書、設置キット、付属品
2	1	各	コンポストユニット（120VAC電源、CSA電源）
3	1	各	4”/110mウインドタービン・ベンチレータ
4	2’/60cm	各	8”/200mm排水ホース
5	1	長さ	8”/200mm排水ギアクランプ
6	4’/1.2m	長さ	4”/110mm排気ホース4.0”/110mm連結器
7	1	各	4”/110mm排気ギアクランプ
8	5.0’/152cm	長さ	0.5”/13mm排水・排気ライン(電気不使用およびDCモデルのみ)
9	1	各	通気口T字(電気不使用およびDCモデルのみ)
10	1	各	シリコン封止剤チューブ（小）
11	1	各	プレミックス・スターターミックスキット（袋）
12	1	各	8oz/236mLコンポスト促進剤
13	1	各	デイリーミックス（サンプルサイズ） *ノルウェーでは含まれません*

Envirolet®低水量リモート部品＆必要な工具

Envirolet®低水量リモートシステム部品（標準システム）

部品Envirolet®低水量リモートシステムに含まれる部品は以下の通りです。

#	数量	単位	品名
1	1	各	低水量トイレおよび取扱説明書、設置キット&付属品
2	1	各	コンポストユニット（120VAC電源、CSA）
3	1	各	4”/110mウインドタービン・ベンチレータ
4	1	各	給水
5	3’/90cm	各	3”/75mm排水ホース
6	4’/1.2m	長さ	4”/110mm排気ホース及び4.0”/110mm連結器
7	1	各	4”/110mm排気ギアクランプ
8	5.0’/152cm	長さ	0.5”/13mm排水ライン
9	1	各	通気口T字
10	1	各	シリコン封止剤チューブ（小）
11	2	各	プレミックス・スターターミックスキット（袋）
12	1	各	8oz/236mLコンポスト促進剤
13	1	各	デイリーミックス（サンプルサイズ） *ノルウェーでは含まれません*

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®フラッシュスマート VF 部品＆必要な工具

Envirolet®フラッシュスマートVFシステム部品（標準システム）

部品

Envirolet®フラッシュスマートVFシステムに含まれる部品は以下の通りです。

#	数量	単位	品名
1	1	各	バキュームトイレ（型番300、700または800シリーズ）、取扱説明書、設置キット&付属品
2	1	各	コンポストユニット（120VAC電源、CSA電源）
3	1	各	バキューム発生機と取扱説明書
4	1	各	バキューム発生機ヒューズブレーカー
5	1	各	AC電源ユニット（120VAC/12V、10Aあるいはそれ以下）
6	1	各	4”/110mウインドタービン・ベンチレータ
7	1	各	バキュームトイレ用電子スイッチ（700モデルのみ）
8	4’/1.2m	長さ	4”/110mm排気ホース及び4.0”/110mm連結器
9	16.0’/4.9m	長さ	1.5”/38mm VG4/トイレ/Envirolet®コンポストユニット接続ホース
10	4	各	1.5”/38mm排水ホースギアクランプ
11	1	各	4”/110mm排気ギアクランプ
12	5.0’/152cm	長さ	0.5”/13mm排水ライン
13	1	各	シリコンホース&潤滑剤（小チューブ）
14	1	各	プリセット水量調節レギュレータ付給水
15	1	各	シリコン封止剤（小）
16	2	各	プレミックス・スターターミックスキット（袋）
17	1	各	8oz/236mLコンポスト促進剤
18	1	各	デイリーミックス（サンプルサイズ）*ノルウェーでは含まれません*
19	1	各	通気口T字

製品に含まれていないが、必要なもの

ほとんどのフラッシュスマート VF の設置には、溶剤セメント CPVC が必要です。

** 接続ホースはワンサイズで提供されます。設置スタイルに合わせて適切な長さに切ってご使用ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

システム設置

お買い求めのシステムタイプに応じた設置ガイドラインを読んでください。

Envirolet®無水独立システム設置

本章をよく読んでください。

本文中のコンポストユニットとは、Envirolet®無水独立システム全体を指します。

注意事項

重要

コンポストトイレシステム（システム）は、指示があるまで電源に接続しないでください。

注意

排気システムは、稼働前に必ずコンポストユニットにしっかり接続してください。正しく接続せずに使用すると危険です。電気的障害や内部に臭気を生じる場合があります。

重要

コンポストユニットのペーパーマットは外さないでください。これは梱包材ではありません。システム立ち上げに必要な、重要な部品です。誤ってペーパーマットを外してしまった場合、システムご使用の前に最初のシステム設置の章に戻って再取り付け作業を行ってください。

排気パイプの90°の曲げ

重要

100mm/4”の排気パイプはまっすぐ伸ばし、排気システムに可能な限りねじれや曲げた箇所を作らないようにしてください。これは、適切な通気と乾燥を行い、内部の臭気を防ぐために必要な手順です。

絶対に、排気パイプ設置時に90°またはそれ以上に曲げた箇所を作らないでください。

準備万端

Envirolet®無水独立システムのコンポストユニット設置準備ができました。主な手順

A. トイレの位置決め
B. 屋根/天井に通気口を開けてください。
C. 通気/ルーフスタック設置
D. システムに通気パイプを差し込む
E. ユニオン連結器を取り付ける
F. 通気パイプを接続する
G. 排水を設置
H. 通気部の接続箇所を全て密封する
I. パイプを断熱する

©2014, Sancor Industries Ltd.

J. 雨よけあるいはウィンドタービン・ベンチレータを取り付ける

1. トイレの位置決め

重要

Envirolet®排気システムは完全に「垂直」（まっすぐ縦に設置）にして戴くことで最大限の性能が発揮できます。 どうしても角度をつける必要がある場合は、**45°の屈曲部が最大2か所を超えないようにしてください。**排気システムが著しく長い場合や屈曲部を多く含むデザインや設置の場合は別売の内部ターボファンが必要になる場合があります。

重要

電気不使用および12VDCシステムの設置については、排気システムを曲げての設置は推奨しません。

重要

排気システムに90°の折り曲げ部は作らないでください。

重要

正しく設置されないと、内部に臭気が生じる場合があります。

A. Envirolet®無水独立システムをトイレ等設置予定場所に置いてください。 最良のコンポスト性能を確保するために、システムは**室温** 18°C (64°F)を超える場所に設置してください。
B. ユニット前部のトレーが取り外しやすい場所に設置してください（ユニット前部に30”/76cm以上の空間がある場所が最適です）。窓の前や壁飾りの近くなどに設置する際には、排気パイプで窓がふさがれる事などないよう排気口の位置も考慮して設置してください。

2. 屋根天井に通気口を開けてください

重要

通気口は最初は小さ目に開けて、徐々に大きくして行くことで、穴が大きすぎるといった失敗を避けることができます。

A. トイレの屋根や天井の、Envirolet®システムの通気接続口（DCおよびACモデルの上部左、*または電気不使用モデルの中央*）の中心になる箇所に印をつけます。正確な位置を測定するには測鉛線が便利です。
B. 穴を開ける前に中心部を決めてください。
C. ドリル等で直径3”/75mmの穴を屋根あるいは天井に開けます。*または、切り取った排気パイプをあてがって印をつけてください。*

3. 通気ルーフスタック設置

断熱ルーフスタックの設置

A. 雨水や雪等が入り込まないようシリコン封止剤を穴の周縁にたっぷり塗ります。
B. 付属の12”/30cm x 12”/30cmラバーの屋根用雨よけを断熱ルーフスタックにかぶせます（3”/75mmのホワイトパイプの上から）。
C. 屋根にうがった3”/75mmの穴に、3”/75mmのホワイトパイプを通します。
D. ラバーの屋根用雨よけの下部や縁をきちんとシリコン封止剤で埋めてください。また、断熱ルーフスタックの下縁もシリコン封止剤で隙間をしっかり埋め、雨漏りなどを防止してください。

4. システムに通気パイプを差し込む

A. 3”/75mm x 36”のホワイト通気パイプの周縁もシリコン封止剤で埋めて、システム上部パネルの通気接続口に繋いでください。
B. 通気接続口の縁や通気パイプの外縁もシリコン封止剤でしっかり埋めてください。

5. ユニオン連結器（オプション）

オプションのユニオン連結器を使用すると、通気システムの取り外しが容易に行え、システムや電気部品等に修理の必要が生じた時に便利です。

A. Envirolet®システムの排気システム設置の際に、付属のユニオン連結器（オプション）で3”/75mmホワイトパイプの「第一セクション」と3”/75mm通気接続口を繋いでください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

B. 3”接続の両端をユニオン連結器に差し込み、¼”ソケットレンチあるいは皿ネジ用スクリュードライバーでユニオン連結器のボルトを締めて通気接続口を固定してください。

6. 残りの通気パイプを接続する

A. 付属の3”/75m連結器に残りの3”/75mmホワイトパイプを繋いでください（必要に応じて3”/75mmホワイトパイプは適切な長さに切ってください）
B. 空気や臭気の漏れを防ぐため、シリコン封止剤で（ユニオン連結器ではなく）3”/75mm連結器接続部の隙間を埋めてください。

7. 排水を設置

重要
ご使用のシステムに排水口がある場合は 必ず接続してください。

電気不使用および 12VDC モデル
電気不使用および 12VDC モデルには排水口が設けられており、適切な下水処理施設に繋ぐ必要があります。

AC 電動モデル
120VAC モデルは、ほとんどの設置例で、通常の使用であれば排水は必要ありません。排水なしでの使用にあたっては取扱説明書に従ってファン＆ヒーターをご使用ください。高頻度での使用が見込まれる場合や頻繁な停電が予測される場合はオプションで排水口を設置することができます。

A. 通気 T 字の T 字部の一端をコンポストシステムから出ている（タンクに向かって右側）13mm/1/2”排水口（152cm/5’標準付属）に繋いでください。
B. 重要:気密状態にならないよう、T 字部品の開口部（中央）を上に向けてください。
C. T 字の反対の端を 13mm/1/2”排水ラインに繋いでください。
D. 排水ラインの反対の端を適切な下水処理施設（汚水処理施設や保水槽など）に繋いでください。コンポストタンクの排水口から下水処理施設まで重力供給によって流れるようラインを配置してください。
E. 凍結の危険がある場合は排水ラインを断熱してください。

重要
排水ラインはお住まいの地域の条例に従って適切な汚水処理施設に繋いでください。

8. 通気部の接続箇所を全て密封する

排気システム接続部の**全ての**隙間はシリコン封止剤で埋めてください。これは臭気の漏れを防ぐ重要な作業です。わずかな隙間（ピンホール）であっても臭気が漏れることがあります。くれぐれもよく点検してください。

9. パイプを断熱する

屋根裏部屋や壁、冷暗所等でのむき出しの3”/75mm排気パイプは断熱してください。システム内の結露や湿気を防ぎます。適切な断熱処理をしていない場合、むき出しの排気パイプによってシステムの誤作動を招く危険があります。

10. ウインドタービン・ベンチレータ取り付け

1. 4”/100mm ウィンドタービン・ベンチレータを断熱済ルーフスタック上部に取り付けてください。
2. ウィンドタービンを 3-4 本以上のタッピンねじ（付属していません）とシリコン封止剤で固定してください。

重要
背の高い木や丘、その他建築物に囲まれた場所や、高い屋根、谷間に位置する等の場合は最低0.9m/3’の高さの100mm/4”の排気用硬質管をご使用ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

ENVIROLET®無水リモートシステムの設置

本章をよく読んでください。

⚠注意事項

重要

コンポストユニットのペーパーマットは外さないでください。これは梱包材ではありません。システム立ち上げに必要な、重要な部品です。

注意

排気システムは、ユニット稼動前に必ずコンポストユニットにしっかり接続してください。遵守しないと電気的障害や臭気漏れが生じる場合があります。

排気パイプの90°の曲げ

重要

100mm/4”の排気パイプはまっすぐ伸ばし、排気システムに可能な限りねじれや曲げた箇所を作らないようにしてください。これは、適切な通気と乾燥を行い、内部の臭気を防ぐために必要な手順です。

絶対に、排気パイプ設置時に90° またはそれ以上に曲げた箇所を作らないでください。

準備万端

Envirolet®無水リモートシステムの設置を始めましょう。主要な手順は次の通りです。

無水トイレ設置

1. 無水トイレ設置位置決め
2. 無水トイレ用に床に穴を開ける
3. 無水トイレを床に固定

コンポストユニット

1. コンポストユニット位置決め
2. コンポストユニットに自在管を繋ぐ
3. 排気用硬質管（付属しません）を設置する
4. 自在管と硬質管をつなぐ
5. ウインドタービン・ベンチレータをつなぐ
6. 通気部の接続箇所を全て密封する
7. 排水ライン設置（必要に応じて）

部品の接続

A. システムの 2 つの部品をつなぐ

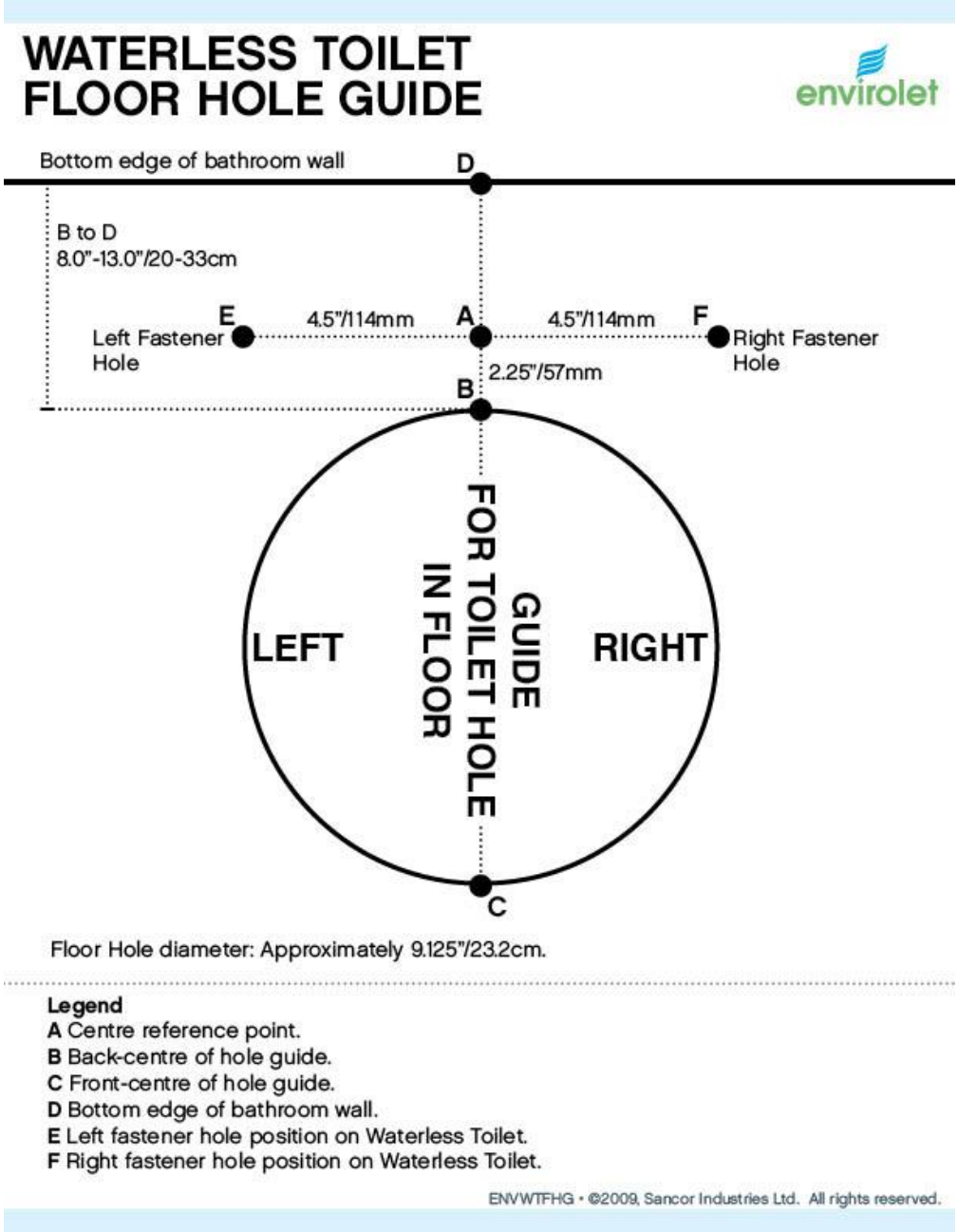
©2014, Sancor Industries Ltd.

無水トイレ設置

1. 無水トイレ設置位置決め

A. 無水トイレの設置場所を決めてください。場所を確定するまで床に穴を開けないでください！無水トイレはコンポストユニットの真上に置き、重力供給によって排水が下に流れるようにしてください。

B. 設置場所の選定については**無水トイレ用床開口ガイド**をご確認ください。



無水トイレの設置場所を確定したら、付属のボール紙の型紙を使って穴の位置を写し取ってください。この外周に従って穴を開けます。型紙や、それに従って開けた穴はやや楕円になっています（真円ではありません）。

2. 無水トイレ用に床に穴を開ける

A. ジグソーやその他類似の工具を床の素材に合わせて選び、線に従って床に穴を開けます。

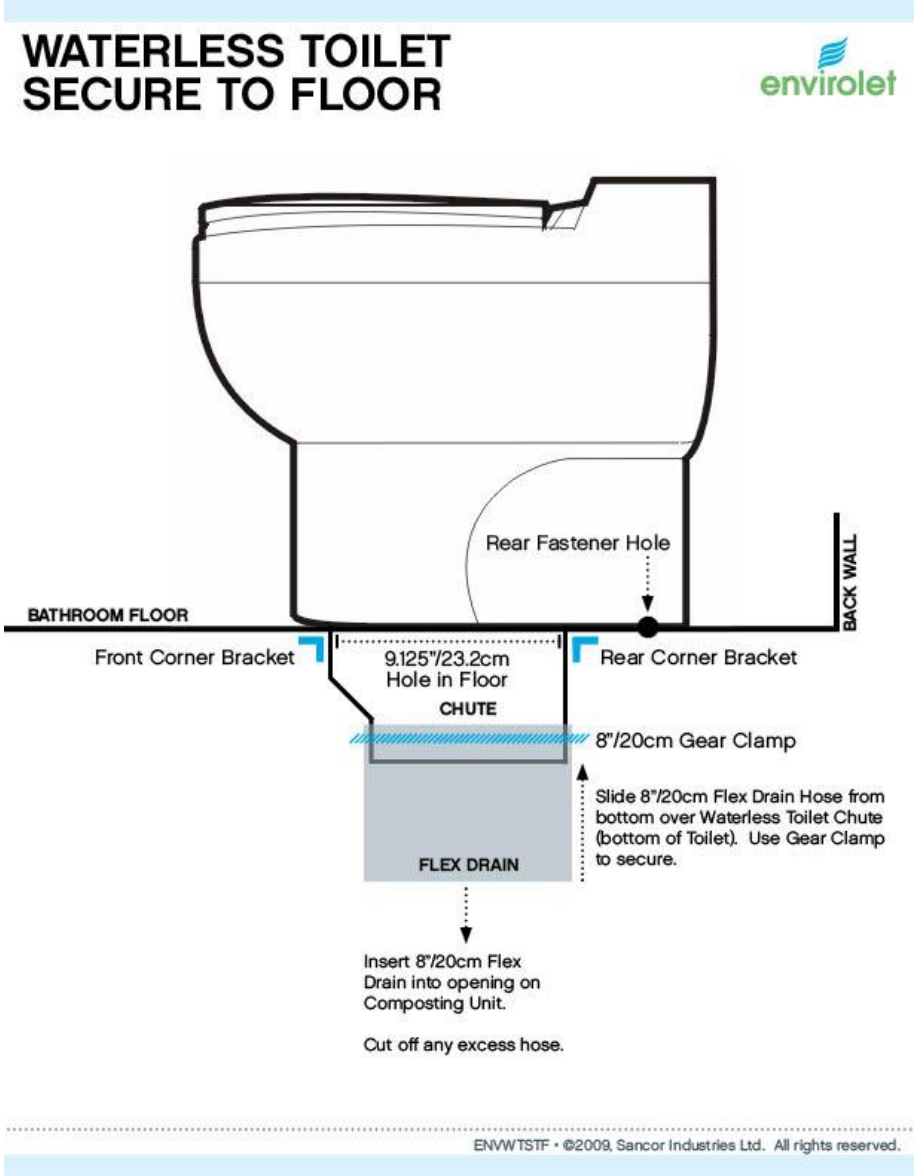
重要

床に穴を開ける際には、最初は小さ目の穴を開けてから、少しずつ大きくして行きましょう。小さすぎる穴を広げることはできても、大きすぎる穴を縮めることはできません。

B. 床にドリルでボルト用の穴を開けます（E と F）。

3. 無水トイレを床に固定

床に穴が空いたら、無水トイレの設置準備ができました。下図の**無水トイレの固定方法**をご参照ください。



C. 無水トイレの底に、ラバーガスケットシールを取り付けてください。トイレの底の凹部にガスケットの接着面を付けます。

D. 無水トイレを床の穴に差し込みます。シュート部（無水トイレ下部）を床の穴にはめてください。
E. 無水トイレを希望の位置に微調整します。
F. 付属の固定器具（ボルト、ナット、ワッシャー）で床に無水トイレを固定してください。
G. 無水トイレの開口部から床下に大きいボルトを差し込みます。
H. ボルトと無水トイレの間にワッシャーを挟みます。
I. 床下とナットの間にもワッシャーを挟みます。
J. ボルトをきつく締めてください。
K. 下（床裏）から前と後ろの角に L 字ブラケットを無水トイレの下に取り付け、トイレの位置がずれないように固定します。
L. 固定されたら、自在管を無水トイレのシュート（トイレ下）に滑らせます。ギアクランプで固定してください。
M. コンポストユニットの設置が完了するまで取り付けないでください。

コンポストユニット設置

1. コンポストユニット位置決め

⚠建物内に設置してください

コンポストユニットは屋内（作業場、地下室、庭の離れ、小屋、ボックスルーム等）の障害物（配管、配電盤、配線等）のない場所に設置してください。

⚠温度

最良のコンポスト性能を確保するために、システムは室温 18°C (64°F)を**超える**場所に設置してください。零下あるいは零下に近い温度下での使用を検討されている方は冬期使用の章をご確認ください。

⚠ユニット防護

安全と性能確保のため、コンポストユニットは通気のよい屋内（作業場、地下室、庭の離れ、道具置場、ボックスルーム等）の乾燥した平らな場所に縦置きして雨や雪、水、電気的障害等の危険のないようにしてください。安全な設置や使用については安全ガイドラインをよく読んでください。

設置手順

A. 重力供給によって汚水が落ちるよう、コンポストユニットは無水トイレの真下に来るよう床の穴に直接置いてください。
B. 通気システムの設置が終了してからコンポストユニットを固定してください。これにより、必要に応じて配置変更が容易にできます。

2. コンポストユニットに自在管を繋ぐ

A. 4”/110mm の自在管をコンポストユニット（タンク）の上パネルの開口部に付属の 4”/110mm ステンレスギアクランプで取り付けてください。
B. 自在管をギアクランプで絞めてプラスチックの開口部に固定してください。
C. 設置事情に応じて、100mm/4”の自在管（標準 4’/1.2m）を必要な長さに切ってご使用ください。

⚠重要

上パネル開口部に排気パイプを4”/110mmギアクランプでしっかり取り付け、臭気漏れをふせぐためシリコン封止剤で隙間を埋めてください。

⚠重要

コンポストユニットに繋いだ4”/110mmの自在管の内最低12”/30cmを4”/110mmの硬質管の接続部に繋いでください。これにより気温が零下になった場合の地面の動きやそれ以外の動きによる硬質管の破損を防ぎます。

©2014, Sancor Industries Ltd.

3. 排気用硬質管（付属しません）を設置する

排気用硬質管

輸送コストの問題で付属しませんが、排気システム設置を完了するために、10’/3m から 20’/6m（標準的な設置）の ABS または PVC の硬質管が必要です。この硬質管は建物の壁に沿って屋根の上に出し(最低 2’/0.6m)、付属のウインドタービン・ベンチレータに差し込みます。硬質管は 4”/110mm の自在管に、付属の 4”/110mm 連結器を通して接続してください。お近くの販売店やホームセンター、DIY ショップなどで安価な硬質管が購入できます。

A. 設置のために必要な 4”/110mm 硬質管の長さを決めてください。必要な硬質管の長さを決めるにあたって、適切な通気を確保し、4”/110mm ウインドタービン・ベンチレータの性能が最大限になるよう最低 2’/0.6m – 3’/0.9m の硬質管が建物の屋根から上に出るように計算してください。
B. 硬質管を可能な限りコンポストユニットの通気口の近くに設置してください。
C. 繰り返しになりますが、排気システム設置の際には 90°のパイプ折り曲げは避けてください。

D. コンポストユニットのすぐ上から硬質管を壁に固定し、屋根の上まで出してください。選んだ場所の条件によって設置は大きく異なります。性能向上のため硬質管を断熱してください。

4. 自在管と硬質管をつなぐ

自在管は付属（スカンジナビアのみ）の 110mm 連結器で硬質管に繋いでください。

5. ウインドタービン・ベンチレータをつなぐ

A. ストレート連結器（付属しません）で硬質管の上部に 4”/110mm ウインドタービン・ベンチレータを取り付けてください。
B. ウィンドタービンを 3-4 本以上のタッピンねじ（付属していません）とシリコン封止剤で固定してください。

重要

背の高い木や丘、その他建築物に囲まれた場所や、高い屋根、谷間に位置する等の場合は最低3m/0.9’の高さの4mm/110”の排気用硬質管をご使用ください。

6. 通気部の接続箇所を全て密封する

A. 排気接続部の隙間はシリコン封止剤で埋めてください。これは臭気の漏れを防ぐ重要な作業です。わずかな隙間であっても臭気が漏れることがあります。くれぐれもよく点検してください。

7. 排水ライン設置（必要に応じて）

電気不使用および 12VDC モデルは標準で排水パイプが付属します。これは適切な下水処理施設に接続する必要があります。AC 電動モデルでは排水はオプションです。排水オプションを利用する場合は以下の通りに設置してください。

A. 通気 T 字の T 字部の一端をコンポストシステムから出ている（タンクに向かって右側）½”13mm 排水口（5’/152cm 標準付属）に繋いでください。

重要

重要:気密状態にならないよう、T 字部品の開口部（中央）を上に向けてください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

B. T 字の反対の端を 13mm/1/2”排水ラインに繋いでください。
C. 排水ラインの反対の端を**適切な下水処理施設**（汚水処理施設や保水槽など）に繋いでください。詳細は**排水情報**の章をご確認ください。コンポストタンクの排水口から下水処理施設まで重力供給によって流れるようラインを配置してください。
D. 凍結の危険がある場合は排水ラインを断熱してください。

重要

排水ラインはお住まいの地域の条例に従って適切な汚水処理施設に繋いでください。

部品の接続

重要

システム設置が完了するまでコンポストユニットは床に取り付けないでください。

1. システムの2つの部品をつなぐ

無水トイレとコンポストユニットの位置を決めたら接続してください。

1. 8”/20cm 自在管をコンポストユニットに差し込んでください。ぐらつかないようしっかりと差し込んでください。自在管は 4”/10cm 以上の余裕をコンポストユニットに残してください。余った管は切り落としてください。
2. ブラケットでコンポストユニットを床に固定してください。

設置完了です！

©2014, Sancor Industries Ltd.

ENVIROLET®低水量リモートシステムの設置

本章をよく読んでください。

⚠注意事項

⚠重要

コンポストユニットのペーパーマットは外さないでください。これは梱包材ではありません。システム立ち上げに必要な、重要な部品です。

⚠注意

排気システムは、ユニット稼動前に必ずコンポストユニットにしっかり接続してください。遵守しないと電気的障害や臭気漏れが生じる場合があります。

排気パイプの90°の曲げ

⚠重要

100mm/4”の排気パイプはまっすぐ伸ばし、排気システムに可能な限りねじれや曲げた箇所を作らないようにしてください。これは、適切な通気と乾燥を行い、内部の臭気を防ぐために必要な手順です。

絶対に、排気パイプ設置時に90°またはそれ以上に曲げた箇所を作らないでください。

準備万端

Envirolet®低水量リモートシステムの設置を始めましょう。主な手順

低水量トイレ設置

1. 低水量トイレの位置決め
2. 低水量トイレ設置

コンポストユニット

1. コンポストユニット位置決め
2. コンポストユニットに自在管を繋ぐ
3. 排気用硬質管（付属しません）を設置する
4. 自在管と硬質管をつなぐ
5. ウインドタービン・ベンチレータをつなぐ
6. 通気部の接続箇所を全て密封する
7. 排水を設置

部品の接続

1. システムの 2 つの部品をつなぐ

©2014, Sancor Industries Ltd.

低水量トイレ設置

重要
トイレに強い化学薬品は使用しないでください。トイレの継目やバルブを破損したり、コンポストトイレユニットの機能を妨げる危険性があります。

重要
ペーパータオル、おむつ、生理用ナプキンなどの大きな物をトイレに流したり入れたりしないでください。

重要
トイレは定期的に清掃し、適切な冬期メンテナンスを行ってください。

重要
便器の清掃には毒性のない、環境に配慮した洗浄剤をご使用ください。冬期や零下になる状況での使用停止の前には便器を完全に乾燥させ、密封してください。冬期メンテナンスの説明をよく読んでください。

重要
製造元の取扱説明書を確認する際には、コンポストユニット以外のトイレについて、あるいは化学薬品の使用に関する箇所は参考にしないでください。

1. 低水量トイレ位置決め

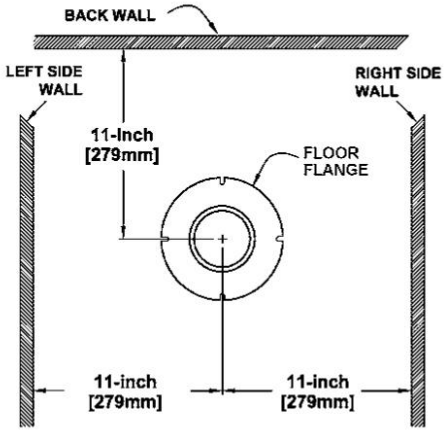
低水量トイレの設置場所を決めてください。

トイレの場所を確定するまで床に穴を開けないでください。

2. 低水量トイレ設置

付属のユニバーサル・フロアフランジをご使用ください。フロアフランジの中央は左右と奥の壁から最低 11.0”/27cm 離してください（図 A 参照）。

図 A



トイレの床に 4.5”/11.5cm の穴を開けてフロアフランジを差し込んでください。

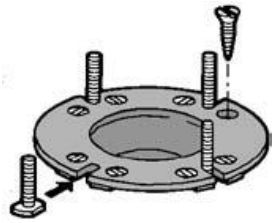
©2014, Sancor Industries Ltd.

トイレを固定する 4 本の付属ボルトは低水量トイレの設置パターンに応じて位置合わせを行ってください。

固定ボルトをフランジの穴に差し込んでください。

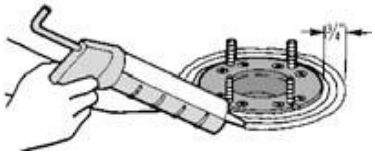
トイレの穴にフランジを差し込み、皿ネジをフランジ穴に通してフランジを床に固定してください（図 B 参照）。

図 B



必要に応じてシリコン封止剤をフロアフランジの外周に沿って埋めてください（図 C 参照）。

図 C



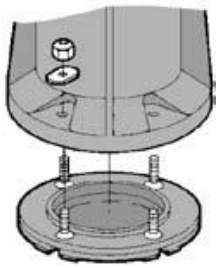
フロアフランジの固定ボルトの上にラバートイレシールを乗せ、位置を合わせてください。

フロアフランジとラバーシールから突き出ているボルトに合わせて低水量トイレを固定してください。

ワッシャーと六角ナットでボルトを留めつけてください。

7/16”/11.125cm レンジ（または同様の工具）でナットをきちんと締めてください。

図 D



水の供給を止める

低水量トイレには 12.0”/30.48cm の水供給ラインが付属します（3/8” - 0.5” あるいは 9.525mm - 12.7mm)。

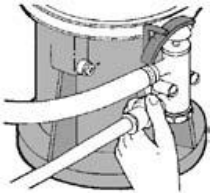
水供給ラインの 3/8”/9.525mm 端をトイレの下水道に繋いでください（トイレの水供給ラインに水道元栓用バルブの設置を推奨します）

水供給ラインから 0.5”/12.7mm 端を低水量トイレ（フットペダルの後ろ）に繋いで水道バル

©2014, Sancor Industries Ltd.

ブ 0.5”/12.7mm MPT インレット 0.5”の水供給ラインに繋いでください（図 E 参照）

図 E

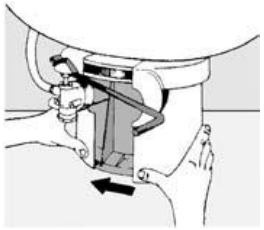


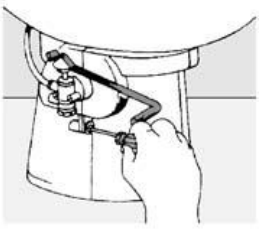
水の供給を始める。

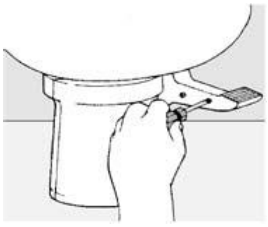
トイレを流して水漏れがないか確認してください。

台座とペダルカバーをスクリュードライバーで取り付けてください。複数の図面を参照してください（図 F 参照）

図 F







3. 低水量トイレの冬期メンテナンス

水の供給を止める。

0.5”/12.7 水供給ラインを切断してください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

水を流して便器とラバーシールを完全に乾かし、水が全くない状態にします（図 B 参照）

詳細については**冬期使用**の章をご確認ください。

注意

凍結防止剤や化学薬品は使用しないでください。 コンポストユニットや自然のコンポスト過程に悪影響が出る可能性があります。

コンポストユニット設置

1. コンポストユニット位置決め

建物内に設置してください

コンポストユニットは屋内（作業場、地下室、庭の離れ、小屋、ボックスルーム等）の障害物（配管、配電盤、配線等）のない場所に設置してください。

温度

最良のコンポスト性能を確保するために、システムは室温 18°C (64°F)を超える場所に設置してください。零下あるいは零下に近い温度下での使用を検討されている方は冬期使用の章をご確認ください。

ユニット防護

安全と性能確保のため、コンポストユニットは通気のよい屋内（作業場、地下室、庭の離れ、道具置場、ボックスルーム等）の乾燥した平らな場所に縦置きして雨や雪、水、電気的障害等の危険のないようにしてください。安全な設置や使用については安全ガイドラインをよく読んでください。

設置手順

低水量トイレの場合はコンポストユニットを床の穴の下に置き重力によって自然に排泄物がトイレからコンポストユニットまでに落ちるようにしてください。

水平部12.0”/31cmごとに、0.25”/7mmの垂直下落部が必要です。

重要

低水量トイレからコンポストまで3”排水ホースで、必ず重力供給によって流れるようにしてください。部品の凹みや曲りはトイレが詰まる原因になる場合があります。

通気システムの設置が終了してからコンポストユニットを固定してください。これにより、必要に応じて配置変更が容易にできます。

2. コンポストユニットに自在管を繋ぐ

A. 4”/110mm の自在管をコンポストユニット（タンク）の上パネルの開口部に付属の 4”/110mm ステンレスギアクランプで取り付けてください。
B. 自在管をギアクランプで絞めてプラスチックの開口部に固定してください。
C. 設置事情に応じて、100mm/4”の自在管（標準 4’/1.2m）を必要な長さに切ってご使用ください。

重要

上パネル開口部に排気パイプを4”/110mmギアクランプでしっかり取り付け、臭気漏れをふせぐためシリコン封止剤で隙間を埋めてください。

重要

コンポストユニットを4”/110mmの硬質管に繋ぐ4”/110mmの自在管の最低12”/30cmを設置します。これにより気温が零下になった場合の地面の動きやそれ以外の動きによる硬質管の破損を防ぎます。

©2014, Sancor Industries Ltd.

3. 排気用硬質管（付属しません）を設置する

排気用硬質管

輸送コストの問題で付属しませんが、排気システム設置を終了するために、10’/3m から 20’/6m（標準的な設置）の ABS または PVC の硬質管が必要です。この硬質管は建物の壁に沿って屋根の上に出し (最低 2’/0.6m)、付属のウインドタービン・ベンチレータに差し込みます。硬質管は 4”/110mm の自在管に、付属の 4”/110mm 連結器を通して接続してください。お近くの販売店やホームセンター、DIY ショップなどで安価な硬質管が購入できます。

A. 設置のために必要な 4”/110mm 硬質管の長さを決めてください。必要な硬質管の長さを決めるにあたって、適切な通気を確保し、4”/110mm ウインドタービン・ベンチレータの性能が最大限になるよう最低 2’/0.6m – 3’/0.9m の硬質管が建物の屋根から上に出るように計算してください。

B. 硬質管を可能な限りコンポストユニットの通気口の近くに設置してください。**繰り返しになりますが、排気システム設置の際には 90°のパイプ折り曲げは避けてください。**

C. コンポストユニットのすぐ上から硬質管を壁に固定し、屋根の上まで出してください。選んだ場所の条件によって設置は大きく異なります。性能向上のため硬質管を断熱してください。

4. 自在管と硬質管をつなぐ

自在管は付属の（スカンジナビアのみ）110mm 連結器で硬質管に繋いでください。

5. ウインドタービン・ベンチレータをつなぐ

硬質管の上部に連結器（付属しません）で 4”/110mm ウインドタービン・ベンチレータを取り付けてください。
ウィンドタービンを 3-4 本以上のタッピンねじ（付属しません）とシリコン封止剤で固定してください。

重要

背の高い木や丘、その他建築物に囲まれた場所や、高い屋根、谷間に位置する等の場合は最低3m/0.9’の高さの4mm/110”の排気用硬質管をご使用ください。

通気部の接続箇所を全て密封する

A. 排気接続部の隙間はシリコン封止剤で埋めてください。これは臭気の漏れを防ぐ重要な作業です。わずかな隙間（ピンホール）であっても臭気が漏れることがあります。くれぐれもよく点検してください。

排水を設置

全ての型番に標準で排水パイプが付属します。これは適切な下水処理施設に接続する必要があります。

A. 通気 T 字の T 字部の一端をコンポストシステムから出ている（タンクに向かって右側）13mm 排水口（5’/152cm 標準付属）に繋いでください。

重要

重要:気密状態にならないよう、T 字部品の開口部（中央）を上に向けてください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

B. T 字の反対の端を 13mm/1/2”排水ラインに繋いでください。
C. 排水ラインの反対の端を適切な**下水処理施設**（汚水処理施設や保水槽など）に繋いでください。詳細は**排水情報**の章をご確認ください。コンポストタンクの排水口から下水処理施設まで重力供給によって流れるようラインを配置してください。
D. 凍結の危険がある場合は排水ラインを断熱してください。

重要

排水ラインはお住まいの地域の条例に従って適切な汚水処理施設に繋いでください。

部品の接続

重要

システム設置が完了するまでコンポストユニットは床に取り付けないでください。

1. システムの2つの部品をつなぐ

低水量トイレとコンポストユニットの位置を決めたら接続してください。

A. 3”/75cm 自在管をコンポストユニットに差し込んでください。3 箇所(横に 2 か所、上部に 1 か所）のポートのどれか 1 箇所を選んでください。ぐらつかないようしっかりと差し込んでください。シリコン封止剤で接続部の隙間を埋めてください。
B. 使用しない排水ポートは外してください。
C. ブラケットでコンポストユニットを床に固定してください。

完了です。

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®フラッシュスマート VF 設置

設置前に読んでください。

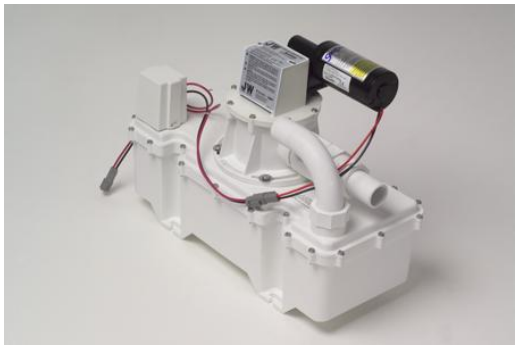
重要
設置を始める前に取扱説明書を読んでください。きちんと説明書を読み、内容を把握することで設置時間が節約でき、簡単に設置できます。

はじめに
正しい動作と本来の性能を保証するため、Envirolet®フラッシュスマート VF コンポストトイレを正しく設置し使用しましょう。本章では設置の基本を説明しています。実際に設置を始める前に知っておくべきことが取り上げられています。

主要部品 3 点
新しい Envirolet®フラッシュスマート VF には、完全なシステムをつくるために重要な部品が 3 つあります。3 つのいずれもシステム稼働に不可欠です。

バキュームトイレ

バキューム発生機



コンポストユニット

一般的な設置
- 通常の設置では、バキュームトイレ部品をバキューム発生機にトイレの床や壁を通って繋ぎます。
- そしてバキューム発生機でコンポストユニットトイレを繋ぎます。.

©2014, Sancor Industries Ltd.

シングルタンクシステム

ダブルタンクシステム

設置前に次の点を考えましょう。

システムの位置決め

バキュームトイレ、バキューム発生機、コンポストユニットは障害物（配管、配電盤、配線等）のない場所に設置してください。 最良のコンポスト性能を確保するために、システムは室温 18°C (64°F)を超える場所に設置してください。零下あるいは零下に近い温度下での使用を検討されている方は冬期使用の章をご確認ください。

ユニット防護

安全性と性能を高めるため、コンポストユニット、バキューム発生機、12V 電源ユニット（およびその他の電気部品）は通気のよい屋内の、乾燥した平らな場所に縦置きしてください。雨や雪、水、電気的障害等の危険のないようにしてください。安全な設置や使用については安全ガイドラインをよく読んでください。

Envirolet®フラッシュスマート VF:部品間の最長距離

Envirolet®フラッシュスマート VF の各部品がそれぞれどの位離して置けるかは個々のケースによって異なります。

本章をよく読んでください。

Envirolet®フラッシュスマート VF モデルの特徴の一つとして、上・下・左右どの方向にも流せます。設置の際にはこれらの最長距離を守ってください。

最長距離

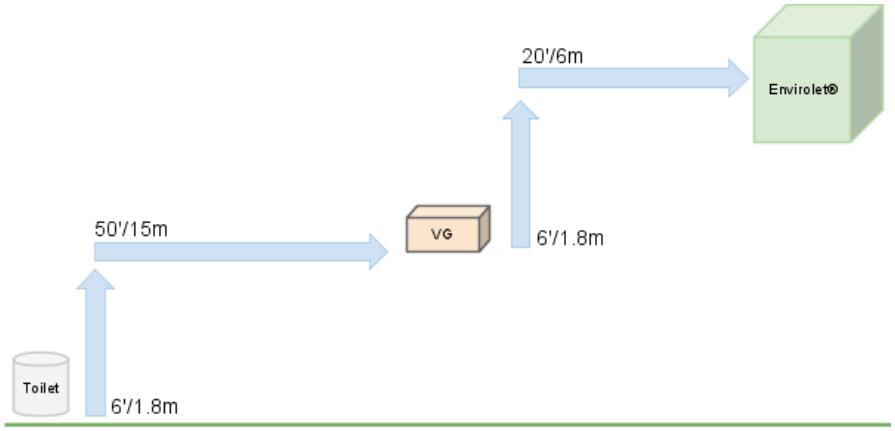
システムの性能を最大限に引き出すため、次の部品間の最長距離を**必ず**守ってください。

全体の最大の高さ（垂直に上へ流す）は 12’/3.6m、最長距離（水平）は 70’/21m です。

- **バキュームトイレからバキューム発生機**までの最大ヘッドは **6’/1.8m** です。
  「ヘッド」とは、バキュームトイレの下からバキューム発生機までの高さです。
- **バキュームトイレとバキューム発生機間の**最大距離は **50’/15m** です。
  最大ヘッド(6’/1.8m)を確保してください。
- **バキューム発生機からコンポストユニット**までの最大ヘッドは **6’/1.8m** です。
  「ヘッド」とは、バキューム発生機の排水口からコンポストユニットの排水口までの高さです。

©2014, Sancor Industries Ltd.

- バキューム発生機とコンポストユニット間の最大距離は **20'/6m** です。
  最大ヘッド(6'/1.8m)を確保してください。



重要

この段階では、*部品は*設置を考えている大体の場所に置いて位置合わせをしてください。**ただし、床への取り付けや他のシステムへの取り付けは指示があるまで行わないでください。**

重要

指示があるまでバキュームトイレあるいはバキューム発生機をコンポストユニットに接続しないでください（各々のパーツを別途設置した後）

Envirolet®フラッシュスマート VF:コンポストユニット設置

本章をよく読んでください。

注意事項

重要
指示があるまでコンポストユニットをバキューム発生機やバキュームトイレに接続しないでください。

重要
バキューム発生機に付属の1.5"/38mm自在管以外の物は使用しないでください。その他の排水パイプは使用しないでください。

重要
コンポストユニットのペーパーマットは外さないでください。これは梱包材ではありません。システム立ち上げに必要な、重要な部品です。

注意
排気システムは、ユニット稼動前に必ずコンポストユニットにしっかり接続してください。遵守しないと電気的障害や臭気漏れが生じる場合があります。

排気パイプの90°の曲げ

重要

100mm/4”の排気パイプはまっすぐ伸ばし、排気システムに可能な限りねじれや曲げた箇所を作らないようにしてください。これは、適切な通気と乾燥を行い、内部の臭気を防ぐために必要な手順です。

絶対に、排気パイプ設置時に90° またはそれ以上に曲げた箇所を作らないでください。

準備万端

Envirolet®フラッシュスマート VF システムのコンポストユニット設置準備ができました。主要な手順は次の通りです。

1. コンポストユニット位置決め
2. コンポストユニットに自在管を繋ぐ
3. 排気用硬質管（付属しません）を設置する
4. 自在管と硬質管をつなぐ
5. ウインドタービン・ベンチレータをつなぐ
6. 通気部の接続箇所を全て密封する
7. 排水部品を設置
8. システムの 3 つの部品をつなぐ

1. コンポストユニット位置決め

建物内に設置してください。
コンポストユニットは屋内（作業場、地下室、庭の離れ、小屋、ボックスルーム等）の障害物（配管、配電盤、配線等）のない場所に設置してください。

温度

最良のコンポスト性能を確保するために、システムは室温 18°C (64°F)を超える場所に設置してください。零下あるいは零下に近い温度下での使用を検討されている方は冬期使用の章をご確認ください。

建物内に設置してください

コンポストユニットは屋内（作業場、地下室、庭の離れ、小屋、ボックスルーム等）の障害物（配管、配電盤、配線等）のない場所に設置してください。

温度

最良のコンポスト性能を確保するために、システムは室温 18°C (64°F)を超える場所に設置してください。零下あるいは零下に近い温度下での使用を検討されている方は冬期使用の章をご確認ください。

ユニット防護

安全性と性能を高めるため、コンポストユニット、バキューム発生機 V 電源ユニット（およびその他の電気部品）は通気のよい屋内（作業場、地下室、庭の離れ、ボックスルーム等）の、乾燥した平らな場所に縦置きしてください。雨や雪、水、電気的障害等の危険のないようにしてください。安全な設置や使用については安全ガイドラインをよく読んでください。

設置手順

A. コンポストユニットをバキューム発生機の隣に置いてください。通常バキューム発生機とコンポストユニットは隣同士ですが、最長20’まで離して置くことができます。ヘッド（垂直の高さ）の距離を確保してください。詳細は**最長距離**の章をご確認ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

B. 排気システム設置が完了するまでコンポストユニットやバキューム発生機は床に固定しないでください。これにより、必要に応じて配置変更が容易にできます。

2. コンポストユニットに自在管を繋ぐ

- 4”/110mm の自在管をコンポストユニット（タンク）の上パネルの開口部に付属の 4”/110mm ステンレスギアクランプで取り付けてください。
- 自在管をギアクランプで絞めてプラスチックの開口部に固定してください。
- 設置事情に応じて、100mm/4”の自在管（標準 4’/1.2m）を必要な長さに切ってご使用ください。

重要

上パネル開口部に排気パイプを4”/110mmギアクランプでしっかり取り付け、臭気漏れをふせぐためシリコン封止剤で隙間を埋めてください。

重要

コンポストユニットを4”/110mmの硬質管に繋ぐ4”/110mmの自在管の最低12”/30cmを設置します。これにより気温が零下になった場合の地面の動きやそれ以外の動きによる硬質管の破損を防ぎます。

3. 排気用硬質管（付属しません）を設置する

排気用硬質管

輸送コストの問題で付属しませんが、排気システム設置を終了するために、10’/3m から 20’/6m（標準的な設置）の ABS または PVC の硬質管が必要です。この硬質管は建物の壁に沿って屋根の上に出 (最低 2’/0.6m)、付属のウインドタービン・ベンチレータに差し込みます。硬質管は 4”/110mm の自在管に、付属の 4”/110mm 連結器を通して接続してください。お近くの販売店やホームセンター、DIY ショップなどで安価な硬質管が購入できます。

- 設置のために必要な 4”/110mm 硬質管の長さを決めてください。必要な硬質管の長さを決めるにあたって、適切な通気を確保し、4”/110mm ウインドタービン・ベンチレータの性能が最大限になるよう最低 2’/0.6m – 3’/0.9m の硬質管が建物の屋根から上に出るように計算してください。

- 硬質管を可能な限りコンポストユニットの通気口の近くに設置してください。**繰り返しになりますが、排気システム設置の際には 90°のパイプ折り曲げは避けてください。**

コンポストユニットのすぐ上から硬質管を壁に固定し、屋根の上まで出してください。選んだ場所の条件によって設置は大きく異なります。性能向上のため硬質管を断熱してください。

4. 自在管と硬質管をつなぐ

自在管は付属の（スカンジナビアのみ）110mm 連結器で硬質管に繋いでください。

5. ウインドタービン・ベンチレータをつなぐ

硬質管の上部に連結器（付属しません）で 4”/110mm ウインドタービン・ベンチレータを取り付けてください。
ウィンドタービンを 3-4 本以上のタッピンねじ（付属していません）とシリコン封止剤で固定してください。

重要

背の高い木や丘、その他建築物に囲まれた場所や、高い屋根、谷間に位置する等の場合は最低3m/0.9’の高さの4mm/110”の排気用硬質管をご使用ください。

6. 通気部の接続箇所を全て密封する

排気接続部の隙間はシリコン封止剤で埋めてください。これは臭気の漏れを防ぐ重要な作業です。わずかな隙間（ピンホール）であっても臭気が漏れることがあります。くれぐれもよく点検してください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

7. 排水部品を設置

通気 T 字の T 字部の一端をコンポストシステムから出ている（タンクに向かって右側）13mm 排水口（5'/152cm 標準付属）に繋いでください。

重要
重要:気密状態にならないよう、T 字部品の開口部（中央）を上に向けてください。

- T 字の反対の端を 13mm/1/2"排水ラインに繋いでください。
- 排水ラインの反対の端を適切な下水処理施設（汚水処理施設や保水槽など）に繋いでください。詳細は**排水情報**の章をご確認ください。コンポストタンクの排水口から下水処理施設まで重力供給によって流れるようラインを配置してください。
- 凍結の危険がある場合は排水ラインを断熱してください。

重要
排水ラインはお住まいの地域の条例に従って適切な汚水処理施設に繋いでください。

8. システムの3つの部品をつなぐ

全ての部品（バキュームトイレ、バキューム発生機、コンポストユニット）の設置位置を決めたらそれぞれ接続してください。**接続&セットアップ**の章をよく読んでください。部品の接続に関しては

重要
システム設置が完了するまでコンポストユニットは床に取り付けないでください。

Envirolet®フラッシュスマート VF:主要 3 部品の接続とセットアップ

Envirolet®フラッシュスマートVFシステムの3つの主要部品

本章をよく読んでください。

接続とセットアップ

⚠重要

®フラッシュスマートフラッシュスマート VF システムの接続や立ち上げ前に全ての安全ガイドラインに従ってください。

もう少しで設置完了です。次に Envirolet®フラッシュスマート VF システムの主要 3 部品を接続します。

⚠重要

部品を床に固定する前にこれらの手順に従ってください。

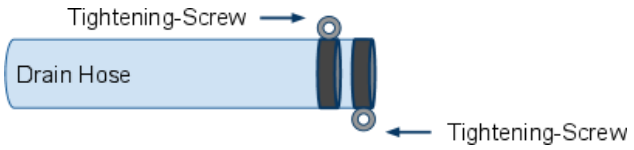
バキュームトイレをバキューム発生機と接続する

- 1.5”/38mm 排水ホースの一端をバキュームトイレ排水口に繋いでください。
  - VF300 モデルのバキュームトイレおよび VF700 と VF800 モデルの後ろのはめ込み部に繋いでください。
- 付属の潤滑油を 1.5”自在管の内側と外側のはめ込み部に塗ってください。
- 2 x ギアクランプで固く締めてください。必ず 2 つご使用ください。各ギアクランプはお互いに反対側（12 時と 6 時の方向）にスクリューで留めつけ、密閉されていることを確認してください。
- 1.5”/38mm 排水ホースの反対側をトイレの壁（あるいは床）に走らせ、バキューム発生ユニットに接続してください。
- 1.5”/38mm 排水ホースの反対側をバキューム発生ユニットに接続してください。付属の潤滑油を排水ホースや外側のはめ込み部にご使用ください。
- 2 x ギアクランプで硬く締めてください。かならず 2 つご使用ください。各ギアクランプはお互いに反対側（12 時と 6 時の方向）にスクリューで留めつけ、密閉されていることを確認してください。

- 全ての接続部が密封されていることを確認してください。バキュームトイレとバキューム発生機は可能な限り最大距離以上離して置かないでください。**最長距離**の章をご確認ください。

バキューム発生機とコンポストシステムを繋ぎます

a. 1.5”/38mm 白いプラスチックのレジューサー連結器を 1.5”/38mm 排水ホースに差し込んでください。付属の潤滑油を排水ホースや外側のはめ込み部にご使用ください。
b. 2 x ギアクランプで硬く締めてください。かならず 2 つご使用ください。各ギアクランプはお互いに反対側（12 時と 6 時の方向）にスクリューで留めつけ、密閉されていることを確認してください。



c. コンポストユニットの左、右、あるいは上のいずれかの排水口を選んでください。ここで排水ホースをコンポストユニットに差し込みます。
d. 1.5”/38mm 白いプラスチックのレジューサー連結器を 1.5”/38mm 排水ホースに繋いでください。
e. 連結器をシリコンまたはＰＶＣ溶剤で水分や臭気漏れのないようしっかり密閉してください。
f. コンポストユニットの未使用の排水口には排水キャップカバーをはめてください。
g. 排水ホースの反対側の端をバキューム発生機ユニットの排水口に繋いでください。
h. 2 x ギアクランプで硬く締めてください。かならず 2 つご使用ください。各ギアクランプはお互いに反対側（12 時と 6 時の方向）にスクリューで留めつけ、密閉されていることを確認してください。

2. 全ての接続部が密封されていることを確認してください。バキューム発生機とコンポストユニットは可能な限り最長距離より離して置かないでください。**最長距離**の章をご確認ください。

バキュームトイレを床に固定

⚠重要

全てのフラッシュスマート VF 300、700、800 シリーズのトイレ場付属の水量調節器を接続して流す際の水量を調節します。

VF700 シリーズ

VF700 シリーズは電子ボタンで流します。

- Envirolet フラッシュスマート VF700 シリーズには VF700 トイレと床に固定するキットがついています。
- 床に固定するキットを床の設置位置に合わせてトイレを設置してください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

- VF700 トイレの下部にあるラバーの O 字リングはシリコングリースをたっぷりつけ、トイレの台座をゆっくり床の取り付けカップに差し込んでください。慌てて何か挟んだり O 字リングを破損しないようにしてください。
- **右側のフィッティングを CPVC 溶剤セメントを使ってトイレの後ろから出ている後ろのストレートフィッティングにしっかり接続してください。**溶剤セメントでプラスチックフィッティングを固定しないと、バキューム効果が得られずバキュームポンプが作動し続けることがあります。

⚠重要

プラスチックフィッティングには必ず CPVC で溶剤セメントを使用して VF700 トイレの下部中央に位置する VF700 トイレ排水口に取り付けてください。

注意:
ご使用前にサービススイッチで便器トラップを開閉してください。

壁掛けスイッチ（VF700 シリーズのみ）

A. 緑色ライト: 流せます
B. 赤色ライト: 流せません

スイッチ稼働

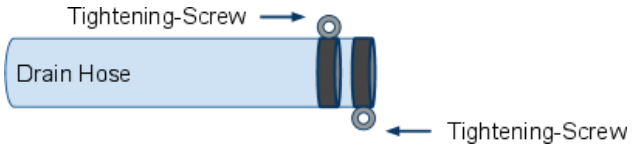
A. 緑色に点灯したスイッチボタンを押して流してください。
B. 水洗後やバキューム発生機稼働中は赤色のライトが点灯します。バキューム発生機が切れると緑色のライトが点灯します（約 40 秒後）

VF300 シリーズ

VF300 シリーズは取扱説明書のペダル式水洗です。

VF300 (ストレートフィッティング)

A. トイレを 1.5”自在管に接続します。
B. トイレの設置場所と位置を決めます。
C. 付属の潤滑油を 1.5”自在管の内側と外側のはめ込み部に塗ってください。
D. 2 x ギアクランプで固く締めてください。必ず 2 つご使用ください。各ギアクランプはお互いに反対側（12 時と 6 時の方向）にスクリューで留めつけ、密閉されていることを確認してください。



E. VF300 モデルには溶剤セメント（CPVC）は使用しないでください。

重要
以下については Envirolet®の取扱説明書のみご参照ください:

- 配線(プラグ＆プレイの章をご確認ください)
- 排水（排水の章をご確認ください）
- 稼働（立ち上げ＆使用の章をご確認ください）
- タンク接続（本章）

バキューム発生機ユニットとコンポストユニットを床に固定します。

A. ユニットの床用ブラケットが動かないようバキューム発生機ユニットを床に固定してください。

以下についてはEnvirolet®の取扱説明書のみご参照ください：

- 配線(プラグ＆プレイの章をご確認ください)
- 排水（排水の章をご確認ください）
- 稼働（立ち上げ＆使用の章をご確認ください）
- タンク接続（本章）

B. ユニットの床用ブラケットが動かないようコンポストユニットを床に固定してください。

バキューム発生機を AC 電源に接続してください（AC モデルのみ）

A. バキューム発生機を電源に接続してください（12VDC モデルには付属しません）配線図についてはプラグ＆プレイの章をご確認ください。
B. 乾燥しておりホコリのない場所で、バキューム発生機とコンポストユニット近くで電源 1-3’ (0.3-0.9m)を床から離して設置してください。
C. 黒の配線は必ずマイナスです(-).
D. 配線は全てプラスチックスナップロックに接続されており、容易に接続することができます。

VF700 シリーズ（ワイヤ接続 4 箇所）

- 赤と黒の配線を 12v 電源からバキューム発生機に繋いでください。
- 12v 電源の赤と黒の配線をトイレに繋いでください。
- 黒と緑の配線をバキュームからトイレに繋いでください。
- 壁掛けスイッチから配線をトイレに繋いでください。
- AC 電源プラグを認証されたアース付 AC 電源差込口にのみ差し込んでください。

VF300 シリーズ（ワイヤ接続 1 箇所）

- 12v 電源の赤と黒の配線をバキューム発生機に繋いでください。
- AC 電源プラグを認証されたアース付 AC 電源差込口にのみ差し込んでください。

コンポストシステムを電源に繋ぐ

A. AC 電源モデルのコンポストユニットをアース付の認証された 120VAC 電源コンセントに差し込んでください。安全の手引きに従ってください。配線図についてはプラグ＆プレイの章をご確認ください。
B. DC モデルのコンポストユニットを 12V 電源につないでください。安全の手引きに従ってください。配線図についてはプラグ＆プレイの章をご確認ください。

Envirolet®フラッシュスマート VF:プラグ＆プレイ

Envirolet®フラッシュスマート VF システムは設置が容易なプラグ＆プレイ式です。ドキュメントリンク（印刷用） • 短縮 URL: http://bit.ly/fsvfpp

プラグ&プレイ配線接続

- Envirolet®フラッシュスマートVFはすぐに使えるプラグ&プレイシステムです。
- 配線は全て色分けされてコネクタがついており、簡単に接続できます。
- こちらの配線図を参考に接続の指示に従ってください(PDFファイルへのリンク)

コンポストユニットとトイレ/ジェネレータの両方について選んでください：

シリーズ（300あるいは700）
電源タイプ

©2014, Sancor Industries Ltd.

部品	300シリーズ	700シリーズ	12VDC	120VAC	230VAC	電源	ファイルリンク
コンポストユニット							Envirolet FlushSmart Wiring Model 300 and 700 Composting Unit 230V.pdf
コンポストユニット							Envirolet FlushSmart Wiring Model 300 and 700 Composting Unit 120V.pdf
コンポストユニット							Envirolet FlushSmart Wiring Model 300 and 700 Composting Unit 12VDC.pdf
トイレ/ジェネレータ							Envirolet FlushSmart Wiring Model 300 with 230V_12V Power Supply.pdf
トイレ/ジェネレータ							Envirolet FlushSmart Wiring Model 700 with 120_12V Power Supply.pdf
トイレ/ジェネレータ							Envirolet FlushSmart Wiring Model 300 with 120V_12V Power Supply.pdf
トイレ/ジェネレータ							Envirolet FlushSmart Wiring Model 700 with 230_12V Power Supply.pdf
トイレ/ジェネレータ							Envirolet FlushSmart Wiring Model 700.pdf
トイレ/ジェネレータ							Envirolet FlushSmart Wiring Model 300.pdf

Envirolet®フラッシュスマート VF:低水量

Envirolet®フラッシュスマート VF は少量の水で動作します！

プリセット水量調節レギュレータ

元々トイレは最少量の水で水洗するよう設定されています。プリセット水量調節レギュレータによって、更に最高 60%の水量を抑えることが可能です。

Envirolet®フラッシュスマート VF コンポストトイレシステムは内部（給水部）水量調節レギュレータがついています。このプリセット水量調節レギュレータによって、Envirolet®フラッシュスマート VF の水量を 0.2 L、あるいは 60%抑えることが可能です。先行モデルの 0.5L から更に進化した 0.2L という超低水量の水洗モデルは 60%もの水量をカットしました。

設置手順

- 給水ラインの 5/8” (15.87 mm)の端をバキュームトイレに繋ぎ、3/8” (9.525mm)の端を水の配管に繋ぎます。
- 水量調節レギュレータは 5 時および/または 11 時、または位置インジケータ 573 にプリセットされています。

水洗のご注意

通常の水洗使用では追加の水が必要になることはありませんが、もし水量が足りない場合は次の通りに変更してください:

VF700 モデル

水量が足りない場合は電動水洗スイッチの「水を追加」を 2-3 秒押してください。

VF300 モデル

水量が足りない場合はフットペダルを上げて少量の水を追加してください。

水洗テスト

トイレをリモート Envirolet コンポストユニット（次章参照）に接続した後は水洗テストを行ってください。テストに関しては以下をお読みください。

重要

バキュームトイレとバキューム発生機のテストを連続で流して水洗できるか確認する場合は、排水ホースをバケツ等の容器に繋いでください。コンポストタンクに水を入れすぎると、スターターキットとペーパーマットが液状化することがあります。

©2014, Sancor Industries Ltd.

排水と一般的排水ピットデザイン

排水についての情報と一般的排水ピットデザイン

排水についてはお住まいの地域の条例などをご確認ください。

システムによっては余剰の水分を排水するキットがあります。排水は**重力供給によって汚水層等の適切な汚水処理施設へ流れるよう**接続してください。

標準排水キットがついているシステム:

- 全電気不使用モデル
- 全 12VDC モデル
- 全水洗(低水量リモートおよびフラッシュスマート VF)モデル

重要 - 必要に応じて AC 無水システムに排水設備を追加してください

目安として、AC 無水モデル（Envirolet® MS10 や Envirolet WRS AC）には排水は不要です。しかし、以下の状況で設置する場合は、型番を問わず（通常排水を必要としない AC 電源無水モデルを含む）排水設備の追加を推奨します:

- 連続した、あるいは高頻度の使用が見込まれるシステム（例：家庭内での使用、商業施設での使用、公衆トイレとしての使用）
- 電源のない状態での使用が見込まれる（停電や節電等）
- システム使用時に常時ノーマルモード/2 の位置（節電のため）で使用することはありません。

Envirolet®無水独立および無水リモートシステム

電気不使用&12VDC 電池式無水独立システムおよび無水リモートシステムには排水キットが付属しており、適切な汚水処理施設に繋ぐ必要があります。AC 電源無水モデルではオプションです。

Envirolet®システムに次の手順で重力供給されるよう繋いでください:

- 適切な*排水ピットあるいは汚水処理施設に繋いでください（以下の一般的デザインの説明をご覧ください）
- *または*貯水槽に繋いでください（定期的な処理施設への運搬が必要になります）
- *あるいは*、5 ガロンのプラスチック容器に接続してください（適切な処理施設への定期的な運搬が必要になります）.

可能であれば排水ピットへの接続がベストです。

排水ラインはトイレシステムから汚水処理施設まで**一貫して重力供給によって汚水が流れるように**設置してください。エアロックやつまりを防ぐため、クイックコネクト T 字部品の通気口部を上に向けて設置してください。

Envirolet®低水量リモートおよびフラッシュスマート VF 水洗システム

©2014, Sancor Industries Ltd.

全ての低水量リモートおよびフラッシュスマート VF システムには排水キットがついています。

重力供給によって汚水が流れるよう Envirolet®システムの排水ラインを以下のように繋いでください:

- 適切な*排水ピットあるいは汚水処理施設に繋いでください（以下の一般的デザインの説明をご覧ください）
- *Or*, connect to a holding tank (will require periodic emptying to proper disposal site).
- *Or,* connect to a 10+ gallon plastic container (will require periodic emptying to proper disposal site).

可能であれば排水ピットへの接続がベストです。

A. 排水ラインはトイレシステムから汚水処理施設まで**一貫して重力供給によって汚水が流れるように**設置してください。
B. エアロックやつまりを防ぐため、クイックコネクト T 字部品の通気口部を上に向けて設置してください。無水の上の図をご覧ください。

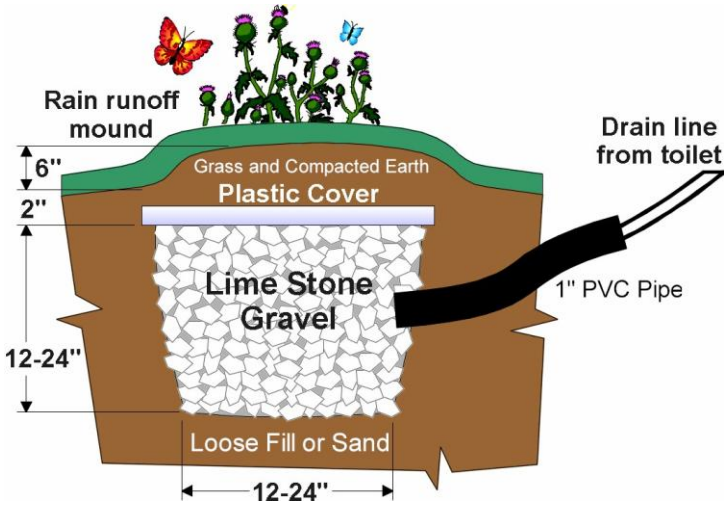
重要

適切な排水ピットや汚水処理施設についてはお住まいの地域の条例をご確認ください

一般的な排水ピット利用手順:

この説明は*一般的な*排水ピットについて書かれています。詳細はお住まいの地域の条例をご確認ください。

- 深さ約 1’/0.3m から 3’/1m、直径約 1’/0.3m から 3’/1m の排水ピットを掘り、底に厚さ 2’/0.6m 以上の土、砂、砕いた石などを敷きます。
- 排水ピットを石灰石の砂利で埋めます。
- 重力供給されるよう設置した 1”/25mm PVC パイプを砂利の中央部(1/3 の深さ)に差し込みます。
- トイレシステムに付属する排水ラインを重力供給されるよう設置し、端(約 6”/15cm)を 1”/25mm 以上の幅の PVC パイプに差し込みます。
- 石灰石のピット表面にプラスチックカバーをかけ、2”/50mm の土で覆います。
- 雨水が流れ落ちるよう、表面を 6”/15cm 程マウンド状に盛り上げて傾斜をつけます（しっかりと踏み固めた土や草等）。
- 排水ピットは飲料水や井戸その他の水源から少なくとも 50’/15m 離れた場所で、かつ、近所に高所の雨押さえがない場所に設置してください。お住まいの地域の条例をご確認ください。



類似の排水ピットは地域によってリーチングピット、セスプール、ドライウェル、グレイウォーターフィールド（シンクやシャワーの水用）、フィルターベッド、フレンチドレインなどとも呼ばれます。

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®システムの冬期使用

Envirolet®システムは冬期も使えますが、本来の性能を保証するために幾つかの注意事項があります。各システムタイプに応じた要件がありますのでお気をつけください。お買い求めになったシステムタイプに向けた情報をご確認ください。

ご不明な点がおありですか？

本来の性能を引き出すには、冬期用に適切なメンテナンスを行う必要があります。Envirolet®システムの冬期使用に関する追加情報あるいはサポートについては Sancor にお問い合わせください。

Envirolet®無水独立＆無水リモート冬期使用

重要
無水独立および無水リモートシステムは冬期あるいは零下の状況でも使用できます。水洗システムではないため、水洗モデルと比較すると注意事項は少ないですが、冬期あるいは零下での使用については以下の冬期使用推奨事項を実行し、冬期においても製品本来の性能を引き出し、冬期に発生しがちなトラブルを防止することをお奨めします。

冬期使用要件

以下の**要件は** Envirolet® 無水独立あるいは無水リモートシステムを冬期、寒冷期、零下の環境で使用する場合に適用されます:

- 定期的な**冬期使用**で、システムが設置された使用場所（トイレ、離れ、納屋、ガレージ、地下室、その他）には適切な断熱・防寒処理を行ってください。暖房は通常不要ですが、可能であれば推奨します。
- システムを**長期にわたって** 冬期あるいは零下（-0°C/32°F）、および零下近くの気温で使用する場合は全部品について凍結を防止して乾燥した、コンポストに適した環境を保つよう適切な断熱・保温処理あるいは暖房をご使用ください。
- Envirolet®システムは季節を問わず屋内に設置し、外気や雨風等から防護された環境に置いてください。Envirolet®システムは屋内に設置し、システムの下にラグやラバーマット、発泡スチロール等を敷いて断熱してください。（システムから発生する熱を床下に放熱させない）
- システムに接続され、適切な排水施設（排水ピット等）に汚水を流す½”排水ライン（電気不使用および 12VDC モデルの標準装備）も適切な断熱処理を行い、凍結を防止してください。ラインが凍結すると排水できなくなるので、適切な防止策を取ってください。
- 排気部品もすべて断熱してください。内部通気パイプも含みます。
- 屋根の通気口とウィンドタービン・ベンチレータを氷や雪から防護し、適切な排気を確保してください。また、通気口に水や雪、氷が入り込まないようにしてください。

コンポストユニット注意事項:

システムのコンポストユニットは冬期に使用しない場合、保温しなくても破損することはありません。生涯保証付のポリエチレン製で、ひび割れや破損の恐れはありません。

注意

凍結防止剤やその他の化学薬品は使用しないでください。コンポスト処理に悪影響が生じる危険があります。その場合、一旦システムを完全に洗浄し、最初からコンポストを始め直す必要があります。

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®低水量リモート冬期使用

重要

Envirolet®低水量リモートシステムは水洗のため、冬期に使用する場合は**特別な事前メンテナンス**が必要です。

システムを長期にわたって 冬期あるいは零下（-0°C/32°F）、および零下近くの気温で使用する場合は全部品について凍結を防止して乾燥した、コンポストに適した環境を保つよう適切な断熱・保温処理あるいは暖房をご使用ください。これは低水量トイレ、コンポストユニット、排気システム、排水ラインおよび接続部の全てを含みます。

冬期使用要件

以下の**要件は** Envirolet®低水量リモートシステムを冬期、寒冷期、零下の環境で使用する場合に適用されます:

排水用 3”自在管（低水量トイレと Envirolet®コンポストユニットを繋いでいる管）には加熱ケーブルを巻き、凍結防止に充分な断熱処理を施してください。 **水洗ラインに凍結防止剤等の化学薬品は使用しないでください。コンポスト処理に悪影響が生じ、結果として最初からコンポストを始め直す必要が生じる恐れがあります。**

別売の冬期用暖房＆断熱キットは Sancor からお買い求め戴けます。

- 「冬期用ボックスルーム」、納屋、作業場、地下室等 Envirolet®低水量リモートシステムのコンポストユニットが設置された建物には**暖房**をご使用ください。
- Envirolet®コンポストユニットは屋内に設置し、システムの下にラバーマットや発泡スチロール等を敷いて断熱してください。（システムから発生する熱を床下に放熱させない）
- Envirolet®低水量リモートコンポストユニットと適切な汚水処理施設（排水ピット等）を繋ぐ½”排水ラインには凍結を防止する適切な断熱処理を施してください。ラインが凍結すると排水できなくなるので、適切な防止策を取ってください。
- 凍結による破損を防ぐため、バキュームトイレへのに給水ライン（水源からの）には適切な暖房処理を行ってください。または、給水ラインを外し、使用の度に手動で少量の水（0.5L）を流してください。
- 設置場所（特にトイレ等）に暖房を入れない場合、バキュームトイレのセラミックおよびラバーシーリングに凍結の危険がないよう便器およびシーリングを完全に乾燥させてください。便器やシーリングを乾いた布で拭くなどして乾燥させてください。この処置は設置場所から離れる時には毎回必ず行ってください。（週の間留守にして週末のみ使用する、あるいは冬期はずっと使用しない等）
- 自在管および硬質管（排気用の自在管や硬質管等）には適切な断熱処理を施してください。
- 屋根の通気口とウィンドタービン・ベンチレータを氷や雪から防護し、適切な排気を確保してください。また、通気口に水や雪、氷が入り込まないようにしてください。

コンポストユニット注意事項:

Envirolet®低水量リモートシステムは冬期に使用しない場合、保温しなくても破損することはありません。生涯保証付のポリエチレン製で、ひび割れや破損の恐れはありません。

注意

凍結防止剤やその他の化学薬品は使用しないでください。コンポスト処理に悪影響が生じる危険があります。その場合、一旦システムを完全に洗浄し、最初からコンポストを始め直す必要があります。

本部品の冬期メンテナンスについては低水量トイレ(510+)の取扱説明書をご参照ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

Envirolet®フラッシュスマート VF 冬期使用

⚠重要

Envirolet®フラッシュスマート VF システムは水洗のため、冬期に使用する場合は**特別な事前メンテナンス**が必要です。

システムを長期にわたって 冬期あるいは零下（-0°C/32°F）、および零下近くの気温で使用する場合は全部品について凍結を防止して乾燥した、コンポストに適した環境を保つよう適切な断熱・保温処理あるいは暖房をご使用ください。これはバキュームトイレ、バキューム発生機、Envirolet®フラッシュスマート VF コンポストユニット、排気システム、排水ラインおよび接続部の全てを含みます。

冬期使用要件

以下の**要件は** Envirolet®フラッシュスマートＶＦシステムを冬期、寒冷期、零下の環境で使用する場合に適用されます:

排水用 1.5”自在管（バキュームトイレとバキューム発生機を繋ぐ管）と Envirolet®コンポストユニットのバキューム発生機には加熱ケーブルを巻き、凍結防止に充分な断熱処理を施してください。 **水洗ラインに凍結防止剤等の化学薬品は使用しないでください。コンポスト処理に悪影響が生じ、結果として最初からコンポストを始め直す必要が生じる恐れがあります。**

別売の 50’/15m 冬期用暖房＆断熱キットは Sancor からお買い求め戴けます。本品使用により簡便に冬期使用の準備をして戴けます:

1. 「冬期用ボックスルーム」、納屋、作業場、地下室等 Envirolet®フラッシュスマートＶＦシステムのコンポストユニット、バキューム発生機が設置された建物およびその電源には**暖房**をご使用ください。
2. Envirolet®コンポストユニットは屋内に設置し、システムの下にラバーマットや発泡スチロール等を敷いて断熱してください。（システムから発生する熱を床下に放熱させない）
3. Envirolet®フラッシュスマートＶＦコンポストユニットと適切な汚水処理施設（排水ピット等）を繋ぐ½”排水ラインには凍結を防止する適切な断熱処理を施してください。ラインが凍結すると排水できなくなるので、適切な防止策を取ってください。
4. 凍結による破損を防ぐため、バキュームトイレへのに給水ライン（水源からの）には適切な暖房処理を行ってください。または、給水ラインを外し、使用の度に手動で少量の水（0.2L）を流してください。
5. 設置場所（特にトイレ等）に暖房を入れない場合、バキュームトイレのセラミックおよびラバーシーリングに凍結の危険がないよう便器およびシーリングを完全に乾燥させてください。便器やシーリングを乾いた布で拭くなどして乾燥させてください。この処置は設置場所から離れる時には毎回必ず行ってください。（週の間留守にして週末のみ使用する、あるいは冬期はずっと使用しない等）
6. 自在管および硬質管（排気用の自在管や硬質管等）には適切な断熱処理を施してください。ダブルタンクモデルでは両方のコンポストユニットに同様の処理をしてください。
7. 屋根の通気口とウィンドタービン・ベンチレータを氷や雪から防護し、適切な排気を確保してください。また、通気口に水や雪、氷が入り込まないようにしてください。

コンポストユニット注意事項:
Envirolet®フラッシュスマートＶＦシステムのコンポストユニットは冬期に使用しない場合、保温しなくても破損することはありません。生涯保証付のポリエチレン製で、ひび割れや破損の恐れはありません。

⚠注意

凍結防止剤やその他の化学薬品は使用しないでください。コンポスト処理に悪影響が生じる危険があります。その場合、一旦システムを完全に洗浄し、最初からコンポストを始め直す必要があります。

©2014, Sancor Industries Ltd.

規格容量-最大限の使用

Envirolet®コンポストトイレシステムには型番に応じた規格容量があります。これらの容量を超えての使用は、ごく短期間を除いて控えてください。

重要

規格容量を超えて使用する場合は、例え短期間であっても排水ラインを設置してください。

お買い求めのシステム/型番の容量をご確認ください。

容量表

システム	型番/シリーズ	電源	利用者/日（フルタイム）	利用者/日（パートタイム）	排水は必要ですか？
Envirolet無水独立	ベーシックプラス	電気不使用	2	4	はい
Envirolet無水独立	DC12	12VDC	4	6	はい
Envirolet無水独立	MS10	AC電源	6	8	いいえ[1]
Envirolet無水リモート	NE	電気不使用	4	6	はい
Envirolet無水リモート	DC	12VDC	6	8	はい
Envirolet無水リモート	AC	AC電源	8	10	いいえ[1]
Envirolet低水量リモート	NE	電気不使用	4	6	はい
Envirolet低水量リモート	DC	12VDC	6	8	はい
Envirolet低水量リモート	AC	AC電源	8	10	はい
Envirolet フラッシュスマートVF AC	300 700 800	AC電源	8	10	はい
Envirolet フラッシュスマートVF DC	320 720 820	12VDC	6	8	はい
Envirolet フラッシュスマートVF AC	350 750 850	AC電源	16 (8/タンク)	20 (10/タンク)	はい
Envirolet フラッシュスマートVF DC	370 770 870	12VDC	12 (6/タンク)	16 (8/タンク)	はい

脚注

1 通常使用においては排水システムは必要ありません。以下の重要事項をお読みください。

重要- 必要に応じてAC無水システムに排水システムを追加してください。

目安として、AC電源無水モデル（Envirolet® MS10およびEnvirolet WRS AC）は排水システムは必要ありません。しかし、以下の状況で設置する場合は、型番を問わず（通常排水を必要としないAC電源無水モデルを含む）排水設備の追加を推奨します:

- ✓ 連続した、あるいは高頻度の使用が見込まれるシステム（例：家庭内での使用、商業施設での使用、公衆トイレとしての使用）
- ✓ 電源のない状態での使用が見込まれる（停電や節電等）
- ✓ ノーマルモード/2の位置（節電のため）で使用する

注意

- 利用者/日は、一人当たり一日三回使用とした一日当たりの使用人数を表します。
- フルタイム使用とは恒常的な使用を表します（住居や商業施設への設置例等）
- パートタイム使用とは別荘等での使用を表します（特定時期のみの使用）
- 規格容量は、取扱説明書に応じた使用に則って算出されています。一例として、AC 電動モデルにおいてはファンはシステムの使用中ずっと点けたままの設定です。
- 正しい排水システムの設置については排水の章をご確認ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

©2014, Sancor Industries Ltd.

使用＆ケア-システムのメンテナンス

Envirolet®コンポストトイレシステムの使用＆メンテナンス　システム立ち上げ、電源制御および通常の取り扱い説明書

システムを使用する前に本章をよく読んでください。

注意

安全ガイドラインに従ってEnvirolet®コンポストトイレシステムをご使用ください。

重要

システムを立ち上げて使用する前にシステム設置を完了してください。

使わないでください！

使ってはいけない物	• Envirolet®は「汚水」（廃水）とその他の添加物（ピートモス、土等）を取扱説明書通りに使用するよう設計されています。 • 安全面、動作面そして性能面からコンポストトイレシステムに使用してはいけないものが一覧になっています。これらの物を使用すると、安全性に問題が生じ、システム保証が無効になる場合があります。
これらの物はコンポストトイレシステムに使わないでください。	• 引火性の物（煙草、マッチ、ガソリン、火種の残っている灰等） • 化学薬品（漂白剤、便器清掃用の薬剤、洗剤、汲み取り式トイレ用薬剤、凍結防止剤等） • 油、グリース類（調理用油脂類、エンジンオイル、グリース等） • 肉類および肉類の副産物 • 女性用衛生用品（タンポン、ナプキン等） • 生活排水（キッチンシンクの排水、シャワーや風呂水、食器洗浄機の排水等）
利用者全員に説明してください	• 必ずこの一覧に従ってください。システムを使用する全員にこれらのルールを守ってもらってください。このページを印刷してトイレの壁などに貼るとよいでしょう。

注意ラベル

このページを印刷してトイレの壁などに貼るとよいでしょう。

WARNING!
Do not add glowing or burning materials to composting toilet system (cigarettes, matches, ashes, etc.) as this is a fire hazard.

規格容量

- Envirolet®コンポストトイレシステムには最大規格容量があります。
- これらの容量を超えての使用はしないでください。
- 型番ごとの容量については規格容量の章をご確認ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

操作は簡単

- Envirolet®コンポストトイレシステムの操作は簡単です。
- 性能を最大限に引き出すため、取扱手順に従ってください。
- 本取扱説明書の安全上の注意に従ってください。詳細については安全ガイドラインをご確認ください。
- 使用を開始する前に、基本的な操作手順に慣れましょう。

目次

A. システム利用＆ケア概略
B. シーズン開始:システムスタートアップ
C. コンポストユニット電源
D. 日々の作業
E. 毎週の作業
F. シーズン中間
G. 冬前
H. シーズン終わり
I. エアレータ＆レーキバー操作

1. システム利用＆ケア概略

この表は正しいシステム操作手順の概略です。この後に詳細が記載されています。

システム利用＆ケア表

#	作業	シーズン開始	毎日	毎週	シーズン中間	冬前	シーズン終わり
1	スターターミックスを足す	X					
2	デイリーミックスを足す		X				
3	デイリーミックスを足す（毎週の使用）			X			
4	コンポスト促進剤を足す	X		X	X	X	X
5	エアレータ・バーの使用	X		X			X
6	排水ラインとフィルタ清掃				X		X
7	電気部品の点検						X
8	システムを空にする	X					
9	空気・水分漏れの点検				X		X
10	システムの冬期使用・使用停止手順					X	

- 「シーズン開始」は Envirolet®の使用を開始した時点を示します。別荘等での使用では一般的に春にシーズン開始します。
- 「毎日」は時期を問わずシステムを使用した日を示します。
- 「シーズン中間」はシステム使用のおおよその中間時点を示します。別荘等での使用では一般的に真夏を指します。
- 必要に応じてデイリーミックスを他の添加物で置き換えることが可能です。使用できる添加物には、黒土、ピートモス、使用後のコーヒー豆、カカオの殻、ココナツの皮、杉以外の木屑、おがくず等があります。
- 冬期を迎えるにあたっての準備は冬になる前に始めてください（冬前のシーズン）例：秋

シーズン開始:システムスタートアップ

排気や排水の設置を含む全ての設置を**完了してから**システムを立ち上げてください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

システム内部を空にする手順がある場合はここから

システムを空にする

初めてのご使用で、内部を空にする必要がない場合はこの手順を省略し、4 から始めてください。

一般的には、シーズン開始時にシステムを空にします。フルタイム使用や高頻度での使用の場合は空にするタイミングはより頻繁になります。

詳細は**システムを空にする**の章をご確認ください。

排水ラインとフィルタ清掃

排水ラインを設置してあるシステムの場合は内部を空にした後、下部パネルを戻す前にシステムの排水ラインとフィルタ（トレーと排水）を点検してください。

排水とフィルタ布にゴミがついていないのを確認してください。必要に応じて交換してください。

空気・水分漏れの点検

- 内部を空にして下部パネルを戻した後、システムの継ぎ目部分に空気や水漏れがないか全部点検してください。
- 下部パネルが正しく取り付けられ、シリコン封止剤で隙間を埋めた箇所が密封されていることを確認してください。

新しくシステムを使用し始める場合はこちらから

Envirolet®コンポストシステムにプレミックス・スターターミックスを入れてください。

無水独立モデルの場合:

便座を上げてトラップを開け、便器を外してミックスを入れてください。

システム内のペーパーマットにできる限り均一に撒いてください。ペーパーマットを誤って外してしまった場合は、間にフォール度グリッドにトイレットペーパー（1 枚）を広げてください。マルチレータ・カッティングブレードの刃を避けてください。

無水リモートシステム、低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデルの場合:

コンポストユニット/タンクのサービスパネルを外してミックスを入れてください。

システム内のペーパーマットにできる限り均一に撒いてください。ペーパーマットを誤って外してしまった場合は、間にフォール度グリッドにトイレットペーパー（1 枚）を広げてください。マルチレータ・カッティングブレードの刃を避けてください。

低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデルはスターターミックスを 2 袋使用します。2 袋とも空けて下さい。

コップ 1 杯(8oz/235ml)の**ぬるま湯を**システム内のスターターミックスにかけます。

便器を元通り設置して便座を下ろすか（無水独立システム）、あるいはコンポストユニットを元通りにしてください（無水リモート、低水量リモート、およびフラッシュスマート VF モデル）。

電源を入れて下さい！コンセントを差し込んでいない場合は、差し込みましょう。ファンが稼働します。

DC および AC 電動モデル:

- コントロールスイッチを 2 の位置のノーマルモードにしてください。
- 最高の性能を得るにはスイッチは 2 の位置にしてください。動作モードの詳細は電源制御と毎日の操作についての章をご確認ください。
- フラッシュスマート VF モデルの場合はバキューム発生機ユニットを点けてください。

電気不使用モデル:

あてはまらない

Envirolet®コンポストトイレシステムの準備ができました！

操作ガイドラインに従うことで最大限のシステム性能が得られると同時に使用前に基本的な操作手順を覚えてください。

3. コンポストユニット電源制御

Envirolet® AC 電源および 12VDC システムは 2 ポジショントグル電源スイッチで Envirolet Works-in-a-Drawer™ ボックスの電気部品のオンオフができます。スイッチはコンポストユニットのトップパネルについています。ご使用のシステムについてよく学んでください。

電気不使用システム

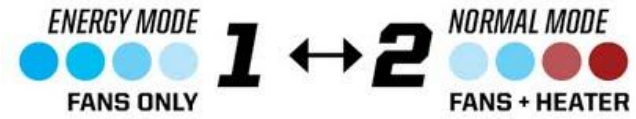
あてはまらない 電気不使用システムは電気を使用しません（オプションの12VDCあるいはAC電源内部ファンを取り付けた場合を除く）

AC 電源システム

Envirolet® AC電源システムは2ポジショントグル電源スイッチでEnvirolet Works-in-a-Drawer™ ボックスの電気部品のオンオフができます。

©2014, Sancor Industries Ltd.

無水独立 AC 電源システムラベル:



無水リモート、低水量リモートおよびフラッシュスマート VF AC 電源モデルラベル:

AC 電源スイッチ操作

2 の位置 - システム使用中
通常の操作モード

- 日々の使用にはトグルスイッチを 2 の位置に入れてください。ヒーターは温度計によって自動制御されています。
- 2 の位置にスイッチを入れると 2 基のファンと自動制御のヒーターが稼働します。

1 の位置 - 1-4 週間の間使用しない場合
省エネモード

- システムを周期的に使用しない場合（毎週末のみ使う等）やトイレをしばらく使用しない場合はスイッチを 1 の位置に入れてください。
- このモードでは消費エネルギーを抑えつつ、自動 6 方向エアレーション™を実行します。
- 1 の位置では 2 基のファンのみが稼働します。ヒーターはつきません。このモードでは利用者が不在の間エアレーション＆乾燥の性能を最大限に実行します。システムを 1～4 週間の間使用しない場合に最適なモードです。
- システム使用中はほとんどの場合 2 の位置に入れておくのが適しています。

電源オフ - 4 週間以上使用しない

- 長期（4 週間以上）にわたって使用しない場合は電源を抜いてシステムをオフにしてください。
- 電源を入れずに使用しないでください。ウインドタービン・ベンチレータはシステムに空気を取り込み続けますが、ファンが止まっているので排気ラインに電気抵抗が生じ、乾燥と通気が遅れます。使用する際には電源を入れてください。.

フラッシュスマートVFモデル

フラッシュスマートVFシステムを長期にわたって使用しない場合（週末ごとの使用等）はバキューム発生機の電源を切ってください。不在時にバキューム発生機が勝手に稼動するのを防ぎます。この状態でもEnvirolet®フラッシュスマートVFコンポストユニットを省エネモードポジション1（ファンのみ稼動）で使用できます。

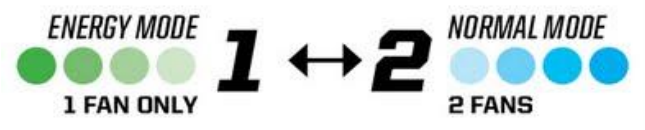
12VDCシステム

Envirolet® 12VDCシステムは2ポジションのトグル電源制御スイッチがついており、Envirolet Works-in-a-Drawer™ ボックスの電気部品のオンオフができます。

12VDC 電池システムはパワフルなデュアルファン（2 基）かシングルファン（1 基）モードで使用できます。エネルギー消費を抑えるため、12VDC バッテリーシステムはヒーターを使用しません。

©2014, Sancor Industries Ltd.

無水独立AC電源システムラベル:



注意

12VDC モデルでは無水独立システムの赤い「蛍光」ライトスイッチ（北米モデルのみ）は点灯しません。

無水リモートあるいは低水量リモートおよびフラッシュスマート VF 12VDC モデルラベル:

12VDC スイッチ稼働

2 の位置 - システム使用中
通常稼働モード

- 2 の位置では両方のファンが稼働します。
- 通常の日々の使用ではトグルスイッチを 2 の位置にしてください。

ファン 2 基のバッテリー性能

- 最大限の性能で、あるいは連続使用で（ファン 2 基で 24 時間稼働）、12VDC バッテリーシステムは 12VDC (220AMP)バッテリーのみの使用で最大 21 時間あるいは 10 連続週末使用できます。
- バッテリーは付属しません。
- 実際の稼働時間はバッテリーいによって差があります。
- 太陽電池システムの併用によって、バッテリーを充電しながらの稼働、あるいは稼働時間の延長が実現できる場合があります。

1 の位置 - 1-4 週間の間使用しない
省エネモード

- システムを周期的に使用しない場合（毎週末のみ使う等）やトイレをしばらく使用しない場合はスイッチを 1 の位置に入れてください。
- 1 の位置ではファンは 1 基のみ稼働します。このモードでは消費エネルギーを抑えつつ、自動 6 方向エアレーション™を実行します。
- システム使用中はほとんどの場合 2 の位置に入れておくのが適しています。

ファン 1 基のバッテリー性能

- 最大限の性能で、あるいは連続使用で（ファン 2 基で 12 時間稼働あるいはファン 1 基で 24 時間稼働）、12VDC バッテリーシステムは 12VDC (220AMP)バッテリーのみの使用で最大 28 時間あるいは 14 連続週末使用できます。
- バッテリーは付属しません。
- 実際の稼働時間はバッテリーいによって差があります。
- 太陽電池システムの併用によって、バッテリーを充電しながらの稼働、あるいは稼働時間の延長が実現できる場合があります。

電源オフ - 4 週間以上使用しない

- 長期（4 週間以上）にわたって使用しない場合はバッテリーターミナルを外してシステムをオフにしてください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

- 電源を入れずに使用しないでください。ウインドタービン・ベンチレータはシステムに空気を取り込み続けますが、ファンが止まっているので排気ラインに電気抵抗が生じ、乾燥と通気が遅れます。使用する際には電源を入れてください。.

フラッシュスマートVFモデル

フラッシュスマートVFシステムを長期にわたって使用しない場合（週末ごとの使用等）はバキューム発生機の電源を切ってください。不在時にバキューム発生機が勝手に稼動するのを防ぎます。この状態でもEnvirolet®フラッシュスマートVFコンポストユニットを省エネモード/ポジション1（ファンのみ稼動）で使用できます。

バッテリーに関する重要事項

- 冬期や寒冷期に長期不在にする際にはシステムからバッテリーを外してバッテリーを暖かい場所に移動してください。バッテリーの破損を防ぎます。

4. 日々の使用手順

システムの正しい動作のため、毎日の使用手順を守ってください。

規格容量を守ってご使用ください

- 最大限のシステム性能を実現するために、規格容量内でご使用ください。
- 詳細は規格容量表をご確認ください。

トイレの使用方法

- シングルプライのトイレットペーパー（複数枚重ねではない、1 枚の巻きのもの）あるいは生分解性のトイレットペーパーを使用するよう利用者全員を指導してください。
- **無水独立モデルの場合:**
  - シートと便器のトラップを開ける際にはハンドルをご使用ください。
- **無水リモートモデル:**
  - シートを開けて使用します。
- **低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデル**
  - 使用後はフットペダルあるいはプッシュボタン(フラッシュスマート VF 700 シリーズのみ)で流してください。便器の水は自動的に補充されます。
  - フットペダルを上げるか、スイッチの「水を追加」機能（フラッシュスマート VF 700 モデルのみ)で便器に水を追加できます。ただし、コンポスト性能を最大限に高め、排水を最小限にするため、可能な限り水の量は最小限に留めるようにしてください。
  - フラッシュスマート VF モデルのバキューム発生機は 1 回流すと充電完了まで 30-60 秒かかります。
- **デイリーミックス（あるいは類似の添加物）を¼ カップ入れてください。**
  - システム使用中はデイリーミックス（あるいは類似の添加物）を **1 日 1 人あたり**¼カップコンポストユニットに入れてください。
  - デイリーミックスの追加によってシステム内のコンポスト固形化を防ぎ、水分を吸収してシステム内の排泄物をカバーします。
  - 更に、自然の微生物を追加して排泄物を堆肥化します。
  - **無水独立および無水リモートモデル:**
    - トイレシートあるいはサービスパネル（無水リモートのみ）からデイリーミックスを足してください。
  - **低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデル:**
    - 添加物が水で濡れないよう、トイレからではなくコンポストユニットのサービスパネルから足してください。
- ユーザーによっては、トイレやコンポストユニットの近くにデイリーミックスを保管しておき、毎回の使用後少量のミックスを追加する人もいます（無水モデルでは簡単にできます）
- デイリー添加表をご確認ください。

デイリー添加表

添加物	利用者数 1日あたり	量(利用者(カップ) 1日あたり	使用量（カップ） 1日あたり
デイリーミックス	1	¼	¼
デイリーミックス	2	¼	½

©2014, Sancor Industries Ltd.

デイリーミックス	3	¼	¾
デイリーミックス	4	¼	1
デイリーミックス	5	¼	1 ¼
デイリーミックス	6	¼	1 ½
デイリーミックス	7	¼	1 ¾
デイリーミックス	8	¼	2
デイリーミックス	9	¼	2 ¼
デイリーミックス	10	¼	2 ½

*デイリーミックスの代替品について

- 弊社のデイリーミックスはシステム専用にブレンドされています。お近くの地域でデイリーミックスが手に入りにくい場合（離島や海外等）、代替品として黒土、ピートモス、使用済みのコーヒー豆、カカオの殻、ココナツの皮、杉以外の木屑やおがくず等も使用できます。**しかしながら、デイリーミックスが最も適した材料であり、製品の性能を最大限に引き出すことができます。**
- 幅 0.75”/2cm 以下の小さい物をご使用ください。

トイレットペーパーの使用

1. トイレットペーパーはの使用は最小限に留めるよう利用者全員を指導してください。
2. Envirolet®にはシングルプライの白いトイレットペーパーがご使用いただけます。これはコンポスト段階で分解されます。
3. トイレットペーパーが乾いている場合（低水量システムでは珍しいです）あるいは 1 か所に固まる場合は水を振りかけて分解しやすくしてください。
4. 生分解性のトイレットペーパーは更に本システムでの使用に適しています。
5. 生分解性のトイレットペーパーは Sancor Industries Ltd や多くの小売店で購入できます。

5. 毎週使用

この他に、次の添加物を定期的（毎週）システムに追加する必要があります。

毎週追加のデイリーミックスを入れてください。

1. **毎週 4-6 カップのデイリーミックスをシステムに入れてください。**
2. **コンポストユニットの内容物全体に均一に振りかけてください。**

無水独立および無水リモートモデル:
トイレシートあるいはサービスパネル（無水リモートのみ）からデイリーミックスを足してください。

無水リモートおよびフラッシュスマート VF モデル
トイレからではなく、コンポストユニットのサービスパネルから追加してください。

デイリーミックスの代替品について
弊社のデイリーミックスはシステム専用にブレンドされています。お近くの地域でデイリーミックスが手に入りにくい場合（離島や海外等）、代替品として黒土、ピートモス、使用済みのコーヒー豆、カカオの殻、ココナツの皮、杉以外の木屑やおがくず等も使用できます。**幅 0.75”/2cm 以下の小さい物をご使用ください。**

コンポスト促進剤を足す

- **毎週大さじ 1 杯のコンポスト促進剤をコップ 1 杯のぬるま湯と一緒にコンポストユニットに入れてください。**

コンポスト促進剤によって内容物の堆肥化を促進する、ユニットのメンテナンスに必要な手順です。

無水独立および無水リモートモデル:
トイレシートあるいはサービスパネル（無水リモートのみ）からコンポスト促進剤を足してください。

無水リモートおよびフラッシュスマート VF モデル
トイレからではなく、コンポストユニットのサービスパネルから追加してください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

エアレータ・バーの使用	• **毎週数回エアレータ・バーを引き出してください。** もっと頻繁にエアレータ・バー（詳細は以下）を使っても問題ありませんが、最低でも週 1 回はご使用ください。エアレータ＆レーキバー操作の章をご確認ください。

ポイント:水分過多、または不足

- コンポストの水分が多すぎるように見える（液状に見える）場合は乾いて見える程度まで乾燥した添加物を追加して混ぜてください。
- コンポストが乾燥しすぎているように見える（粘土状に見える）場合は少量の水をふりかけて湿らせてください。
- その他のポイントについてはトラブルシューティングの章をご確認ください。

6. シーズン中間

シーズン中間のトラブル防止ケア	シーズン中間時期では、トラブル防止に幾つかのメンテナンス手順を実行してください。これらの手順の所要時間はそれぞれ数分程度です。 • 空気・水分漏れの点検 • 継ぎ目や隙間を埋めた箇所から空気漏れや水漏れが生じていないか目視で確認してください。 • 下部パネルが正しく取り付けられ、シリコン封止剤で隙間を埋めた箇所が密封されていることを確認してください。

7. 冬前

冬期使用に備える	システムを冬期も使用する場合は冬になる前の時点での適切な準備が必要です。詳細はシステムごとの**冬期使用**の章をご確認ください。

8. シーズン終わり

シーズン終了時のトラブル防止手順	シーズン中間同様、シーズン終了時点（システム長期にわたって使用しなくなる時期）でも、トラブル防止に幾つかのメンテナンス手順を実行してください。これらの手順の所要時間はそれぞれ数分程度です。 • 空気・水分漏れの点検 • 継ぎ目や隙間を埋めた箇所から空気漏れや水漏れが生じていないか目視で確認してください。 • 下部パネルが正しく取り付けられ、シリコン封止剤で隙間を埋めた箇所が密封されていることを確認してください。
電気部品の点検	1. ファンの音を確認してください。2 基のファンの両方が動作しているかどうかがはっきり分からない場合もあります（1 基のみ動作しているのを、両方動作していると勘違いする等）が、第一段階として有効な点検方法です。 2. 両方のファン(DC および AC モデル)が動作しているかどうかを調べるのには、紙や袋を使うとよいでしょう。 a. 薄い紙やビニール袋をトイレシート（無水モデル）、あるいはサービスパネルの通気口（低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデル）に被せてください。 b. ファンが正常に動作している場合は、紙あるいはビニール袋は通気口に引き込まれます。

3. ヒーターを点けます(AC モデル)。5-10 分待ってトップパネルの中央を触ってください。ほんのり温かくなっていれば、ヒーターが正常に動作しています。
4. 配電盤を 5 年以上使用している場合は毎年点検を実施してください。

電気・電源トラブルですか？
電気部品が正常に動作していないと思われる場合は、トラブルシューティングの章をご参照になるか、弊社までお問い合わせください。

空気・水分漏れの点検

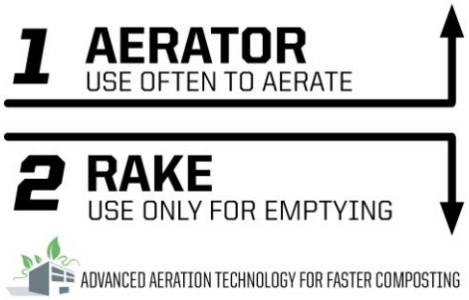
- 継ぎ目や隙間を埋めた箇所から空気漏れや水漏れが生じていないか確認してください。
- 下部パネルが正しく取り付けられ、シリコン封止剤で隙間を埋めた箇所が密封されていることを確認してください。

9. エアレータ＆レーキバー操作

エアレータ＆レーキバー

Envirolet®コンポストシステムには**エアレータ・バー**(上部バー)と**レーキ・バー**(下部バー)が取り付けられています。それぞれのバーにはシステム前面に取っ手がついています。それぞれ異なる機能があります。

コンポストユニット前面のエアレータ/レーキラベル:



エアレータ

頻繁に使用します。

- エアレータはシステム内部のコンポストを切り混ぜる刃状＆鋸刃状の部品です。
- エアレータはコンポストに空気を含ませ、システム内部にコンポストを均一に行き渡らせるのに有効です。
- エアレータ・バーを「押して引く」動作を数回行ってください。何回繰り返しても問題ありません。

レーキ・バー

内部を空にする時に使用します。

- レーキバーは、小さなレーキ（熊手）部品のついた複数のカッターです。
- レーキバーは内部を空にする時にコンポストをかき寄せ、トレーに出すために使います。詳細は**内部を空にする**章をご確認ください。

10. システムを使いましょう！

システムの設置が完了して、操作手順を覚えたら、早速トイレを使用しましょう！

内部を空にする

⚠重要

システム内部を空にする際には通常のトイレ清掃手順同様に清潔を保って作業しましょう。システムは通常のトイレ掃除を行う時と同じように扱ってください。内部を空にした後は手をよく洗ってください。

最初に

Envirolet®コンポストシステムを空にするのは簡単です。レーキ・バーを使ってコンポストを掻き出し、下のトレーに落とします。

内部を空にするタイミング

- Envirolet®を空にするタイミングは使用頻度により、少ない場合は年 1 回程度で大丈夫な場合もあります。
- 使用頻度が高いほど頻繁に空にする必要があります。

一般的な使用頻度と空にするタイミングの関係

使用タイプ	おおよその空にするタイミング
バケーションタイプ *別荘、キャビン、プールサイドの小屋等*	年 1-2 回
フルタイム使用 *家庭、通年使用の別荘等*	年 2-3 回
商業使用 *建築現場、ゴルフ場、倉庫等*	年 2-4 回

空にする必要がある時

- システムを空にするタイミングは、使用頻度と間接的に関連します。
- システムを空にする必要があるのは、トイレシステムのコンポストの高さが変わらなくなってきた時（水分が乾燥・蒸発したり、微生物の働きなどによる嵩の減りがなくなる）や、目視で一杯になってきたと思えたタイミングです。

空にする前に - 待機時間

- システムを空にする前に、空にする手順を全部読んでください。
- **システムを空にする約 2 週間前までに、レーキ・バーでコンポストをトレーに落としておきましょう。**
- Envirolet®コンポストシステム**を空にする最低 48** 時間前の期間はシステムを使用しないでください。これは水分や最近追加されたコンポストの乾燥や排水に必要な待機時間です。 **可能であれば空にする前 72 時間は使用しないと更によいでしょう。** これは電源不使用、あるいは水を使うシステム（低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデル）の場合に特に推奨します。
- 48-72 時間の待機時間中はシステムを **2 の位置/ノーマルモード**(AC 電源モデルの場合はファン＆ヒーター、12VDC モデルの場合はデュアルファン稼働）にして水分の乾燥・蒸発を促します。
- 家庭で使用しているシステム（通年使用）の場合は約 3-6 か月に 1 回システムを空にする必要があります。

©2014, Sancor Industries Ltd.

空にする手順

1. システム点検

システムを空にする前に、便座（無水独立モデル）あるいはサービスパネル（無水リモート、低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデル）からコンポストユニットを調べて水分量を確認します。

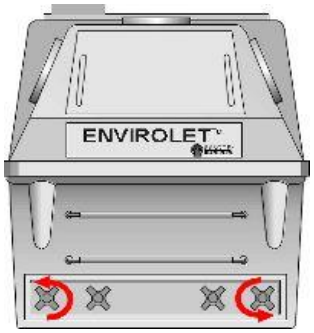
システムを空にする前に待機時間（前項参照）を設けてください。

コンポストユニットの内容物の水分量がまだ多いように見える場合は、デイリーミックス（あるいはピートモス）を追加して余剰の水分を吸収させ、コンポストを空にする前に水分蒸発の時間をもうけてください。

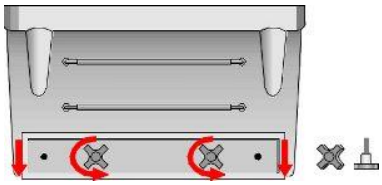
2. 下部パネルを外す

Envirolet®を空にするには下部パネルを外してトレーを出す必要があります。 (この他に、2 段階堆積物フィルタの清掃や点検の際にも下部パネルを外します)

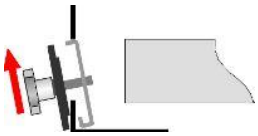
外側ノブ
下部パネル外側の 2 つのノブを反時計回りに回して完全に外してください。



内側ノブ
下部パネル内側の 2 つのノブを反時計回りに回してゆるめてください。内側のノブは完全には外さない方がよいでしょう。

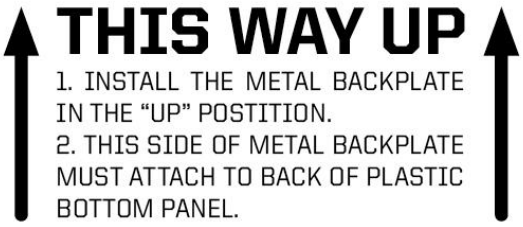


内側の 2 つのノブは緩めた状態で付けたまま、親指でノブを押してプラスチックの下部パネルを手前に引きます。パネルを下方に引き、金属バックプレートをシステムの開口部から引き出します。下部パネルが外れます。



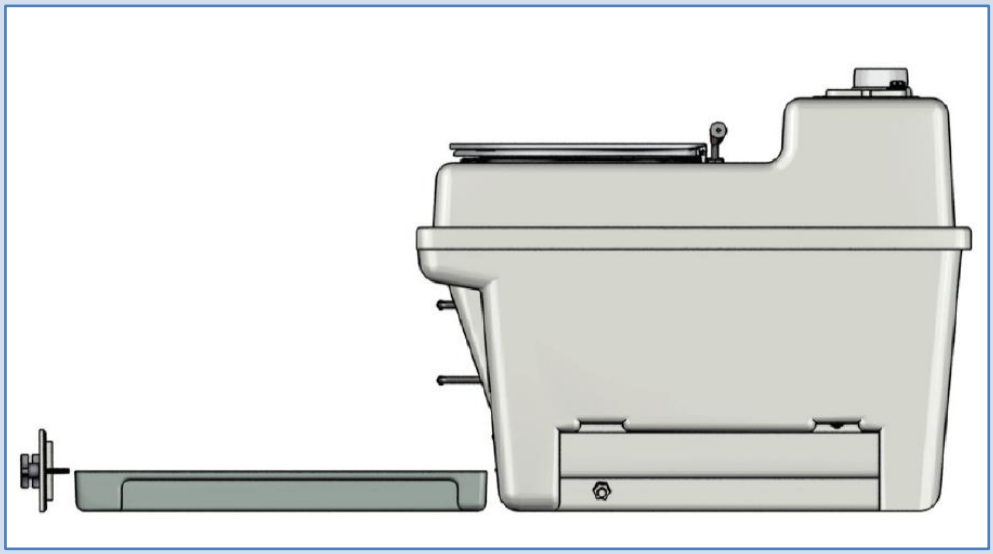
再度取り付け
金属バックプレートの表示を確認して、戻す際には同じ方向に取り付けましょう。バックプレートの「天地無用-こちらが上」表示:

©2014, Sancor Industries Ltd.



3. システムを空にする手順

トレーを外す
トレーを引き出し、空にします。最近 Envirolet®を使用した場合、水分が確認できることがあります。その場合は空にせず、そのまま置いて水分の蒸発を待ちます。



無水独立モデルからのトレー取り外し

トレーを戻す
空のトレーを元の場所に戻してください。これでまたコンポストを受けられます。

レーキ・バーの使用
- システム前部のレーキ・バー（下部）を押し引きしてコンポストを空にします。
- この手順でコンポストがトレーに落ちてきます。
- トレーは頻繁に確認してください。
- 量によっては 1 回以上トレーを空にする必要があります。

レーキ・バー使用の注意
レーキ・バーは小さいレーキ（熊手）のついた複数の刃です。約 2-3”あるいは 5-8cm 引き出せます。.

トレーを外してコンポストを空ける
空にしたコンポストはお住まいの地域の条例に従って処分してください。多くの自治体では花壇への使用や敷地内に埋めたり林に撒いたりすることを認めています。自治体によっては普通ごみとして出す必要があります。

4. トレーとフィルタ清掃

トレーと 2 段階堆積物フィルタ（Envirolet®電源不使用、12VDC 低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデルの標準装備)はコンポストを空にするタイミングで清掃するとよいでしょう。 ぬるま湯と石鹸であらい、石鹸をよく流してシステムに戻してください。強い化学薬品の使用は推奨しません。フィルタ布はトレー（後方角）に、フィルタチューブはトレーの下にあります。

5. ガスケット点検＆ト

下部パネルを戻す前に、下部パネルのラバーガスケット（プラスチックの下部パネル裏にあります

レーを戻す

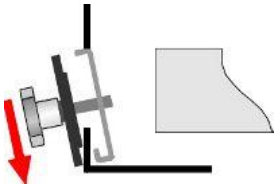
）を点検してください。破れたり避けたりしている場合システムから水分や空気が漏れることがあります。

また、その次の時にトレーを交換してください。**重要です!**

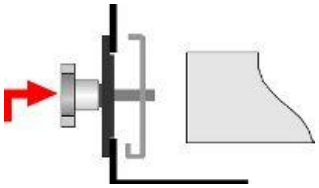
6. 下部パネル再度取り付け

内側の 2 つのノブは緩めた状態で付けたまま、親指でノブを押してプラスチックの下部パネルを手前に引きます。

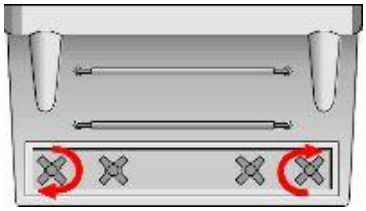
金属バックプレートをシステム開口部から下向きに取り付けます。金属バックプレートの端が L 字になっている側を上に、C 字になっている側を下にしてください。これらの端は正しく取り付けた場合自分の方を向きます。



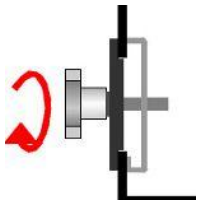
パネルの位置を正しく合わせて内側の 2 つのノブを時計回りに締めます。内側のノブを完全に締める前に外側の 2 つのノブを差し込み、時計回りに締めてください。



4 つのノブを全部しっかり締めます。きちんと固定されていることを確認しましょう。 ノブをきつく締めすぎないよう注意してください。



下部パネルが正しく取り付けられていて、空気や水分が漏れる隙間がないことを確認してください。正しく取り付けられていれば、ずれや歪み、隙間等はありません。



7. 準備万端!

これで Envirolet®システムをまた使用することができます！

システムの使用再開については立ち上げと操作の章をご確認ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

トラブルシューティング

ENVIROLET®コンポストトイレユニット・トラブルシューティング

システムの調子がおかしいですか?大丈夫!本トラブルシューティングガイドには、幾つかのトラブルについての解決方法があります。まず本ガイドを確認し、それでも解決しない場合は弊社にお問い合わせください。

- 本ガイドはトラブルの説明と解決法の順に記載されています。
- トラブルが載っていない場合やよく分からない場合は直ちに弊社にお問い合わせください。

最初に

トラブルの多くは設置の際に生じています。本ガイドを設置前にお読みの際には特にご注意ください。設置の際の問題の詳細は誤った設置の章をご確認ください。

ほとんどの場合、すぐに対処するのが最良の解決法です。.

正しいシステム操作

多くの問題は正しい使用手順を守っていれば発生しません。この表は正しいシステム操作手順の概略です。

システム利用＆ケア表

#	作業	シーズン開始	毎日	毎週	シーズン中間	冬前	シーズン終わり
1	スターターミックスを足す	X					
2	デイリーミックスを足す		X				
3	デイリーミックスを足す（毎週の使用）			X			
4	コンポスト促進剤を足す	X		X	X	X	X
5	エアレータ・バーの使用	X		X			X
6	排水ラインとフィルタ清掃				X		X
7	電気部品の点検						X
8	システムを空にする	X					
9	空気・水分漏れの点検				X		X
10	システムの冬期使用・使用停止手順					X	

詳細はシステム立ち上げと操作の章をご確認ください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

問題&解決法

屋外への臭気漏れ 屋外で臭気が感じられる（通気口や屋根付近）	**蒸発不足** 内部の水分量が多いと蒸発不足になります。結露・水分量過多の章をご確認ください。 **木や枝による通気阻害** 排気口付近に木や枝がかかっていると通気を阻害することがあります。必要に応じて剪定してください。 **庇が高すぎるため生じる通気阻害** 庇が高すぎると排気口の上部で空気の流れが阻害されることがあります。排気口を高くしてください。 **排気口が低すぎる** 排気口が低すぎて臭気が感じられることがあります（人のいる場所に排気される）排気口を高くしてください。 **対処・解決法** 上記の対処・解決法の他に、 Sancor™エアソリューションカートリッジのご使用が有効な場合があります。
屋内での臭気漏れ 屋内のコンポストユニット近くで臭気が感じられる（トイレのある場所ではない）	**排気ファンの動作不良** 排気ファンが動作していないと、ブロワ—ファンがユニットの外に排気/臭気を排出する可能性があります。排気ファンを交換してください。結露・水分過多の章をご確認ください。 **適切ではない排気** 排気口が曲がっていると結露が生じて蒸発がうまく進まないことがあります。排気口は可能な限り垂直にまっすぐ設置してください。 **排気口を曲げる必要がある際も 90°の角度は避けてください。** **排気口接続部、上下部パネル、排水口等から漏れが生じている** 排気口接続部、上下部パネル、排水口等の漏れを点検し、隙間を埋めてください。「ピンホール」大の小さな穴でも臭気漏れの原因になることがあります。 **システムと「競合」する排気ファンがある** トイレ近くから空気を排出する排気ファンや通気口が複数あったり、薪ストーブ、開いている窓、シーリングファン、暖房等で空気の流れが競合する場合があります。コンポストユニットのある部屋のドアや窓は閉めてください。 **8”自在管が適切な長さに切られていない** 無水リモートモデルに使用する 8”自在管（無水トイレとコンポストユニットを繋ぐ排水ライン）はコンポストユニット上部からタンクまで距離を取り過ぎないようにしましょう。最長でも 3-4”前後を目安にしてください。コンポストが上部にあり、自在管が長すぎると通気が阻害されることがあります。

©2014, Sancor Industries Ltd.

結露・水分過多

システム内の水分過多低水量リモートおよびフラッシュスマート VF システムは水洗のため、システム内には必ず水分が存在します。

電気障害

電気 WID ボックスを点検してください。ファンやヒーターの動作不良も結露や水分過多に繋がります。修理はカスタマーサービスあるいは販売店にお問い合わせください。

適切ではない排気

排気口が曲がっていると結露が生じて蒸発がうまく進まないことがあります。排気口は可能な限り垂直にまっすぐ設置してください。 **排気口を曲げる必要がある際も 90°の角度は避けてください。**

通気阻害

排気口に障害物（蜘蛛の巣、小枝、動物、網、その他）があると通気が阻害され蒸発率が落ちることがあります。排気口を確認し、障害物を取り除いてください。

排気口には「網類」（昆虫よけのメッシュスクリーン等）も含めて一切の障害物を置かないようにしてください。蒸発率低下やファンの動作不良の原因になることがあります。（昆虫が排気口を下りてシステムに侵入することはありません。昆虫関連のトラブルシューティング情報は以下をご確認ください。

ウインドタービン・ベンチレータ動作不良

タービンを点検し、障害物等がないか調べてください。タービンに空気が供給されているか、屋根や木の枝などに疎外されて空気が循環していないか調べてください。

適切ではない使用

利用者数が多すぎませんか？規格容量を守ってください。

排水口の詰まり、あるいは重力供給されるように設置されていない

排水ラインが詰まっていたり潰れていないか点検してください。クイックコネクト T 字部品のエアロック弁が上を向いており、詰まっていないことを確認してください。システム内部を点検し、フィルタが目詰まり指定胃内か確認してください。フィルタおよび排水口詰まりの章をご確認ください。排水ラインが重力供給されるよう設置されていることを確認してください。

高頻度の使用（排水ラインなし）

VF システムは全て排水口を設置・ご使用ください。

設置エリアの室内および床温度

床が冷たすぎませんか？暖房を入れたり、システムを床から離して放熱を防いでください。

水の足し過ぎによる水分過多

シンクやシャワーの排水など余分な水分は追加しないでください。

コンポストユニットの断熱不足（冬期や寒冷地での使用）

VF はコンポストユニットおよび排水・排気等全てのパーツが十分に保温・断熱されていない環境での使用は推奨されていません。

システムと「競合」する排気ファンがある

トイレ近くから空気を排出する排気ファンや通気口が複数あったり、薪ストーブ、開いている窓、シーリングファン、暖房等で空気の流れが競合する場合があります。コンポストユニットのある部屋のドアや窓は閉めてください。

待期時間を取らずにシステムを空にする

システムを空にする前には 48 時間の待機時間を設け、「新しい」水分を蒸発あるいは排水させましょう。システムを空にする手順をご確認ください。.

©2014, Sancor Industries Ltd.

ファン動作不良

Envirolet® AC および DC モデルには**ファンが 2 基**あります。これはエアレーションや水分蒸発等製品本来の性能を発揮するため不可欠な部品です。1 つでも動作不良になった場合は直ちに交換してください。ファンは機械部品なので、動作不良になることがあります。

ファンの動作不良を疑う要因として、屋内の臭気、蒸発速度の定価、ファンからの異音あるいはファンの動作音が聞こえない等があります。ファンは下部の電気 WID (Works-in-a-Drawer)ボックスに位置しています。有資格の技術者に修理を依頼し、上部パネルを空ける前に電源は完全に切ってください。安全のため、内部機構の改造は変更は最初に有資格の技術者に相談してください。

排気ファン（左）動作不良

屋内（コンポストユニット設置場所近辺）で臭気が感じられる場合、排気ファンの動作不良の可能性があります。交換については販売店かカスタマーサービスに問い合わせてください。ファン交換の章をご確認ください。

ブロワ―ファン（右）動作不良

蒸発率低下はブロワ―ファンの動作不良の可能性があります。交換については販売店かカスタマーサービスに問い合わせてください。ファン交換の章をご確認ください。

下部パネルからの漏れ

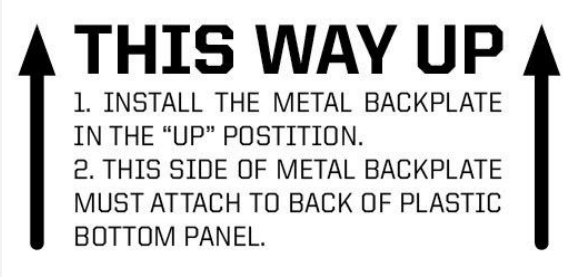
全 Envirolet®システムの下部パネルは密閉されています。ここからの漏れは通常発生しません。漏れが確認できた場合は原因が判明するまで下部パネルを取り外さないでください。水分飛散を招く危険があります。

下部パネルのノブが緩んでいる

ノブをきちんと締めてください。

下部パネルが上下逆になっている

下部パネルの方向を確認してください:裏側に金属プレートがあります。金属プレートの上下はカーブしています。片方は L 字で、逆方向は C 字にカーブしています。L 字が上です。また、金属プレートの裏側にある矢印を参照してください。



下部パネルのガスケット交換が必要

下部パネルのラバーガスケットが破れたり避けている場合は交換してください。

ラバーワッシャーの交換が必要

ラバーワッシャーが破れたり破損している場合は交換してください。

余剰水分の排水システムがない状態、あるいは排水口が詰まったままで頻繁に使用している

規格容量ガイドラインを守ってください。排水が詰まっていないか点検してください。結露・水分過多の章をご確認ください。排水口の詰まりを確認するには下部パネルを外してください。パネルからの漏れが確認できている場合は、最終手段としてそれ以外に対策がない場合以外はパネルを外さないでください。

水洗量が多い

Envirolet®低水量リモートおよびフラッシュスマート VF モデルでは可能な範囲で最小限の水

©2014, Sancor Industries Ltd.

	量で流してください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

エアレータあるいはレーキ・バーのトラブル

エアレータ・バーが固く、動かし辛い内容物が乾燥しすぎている可能性があります。対処法のいくつかはレーキ・バーのトラブル対処にも応用できます。

使用頻度が低い

使用頻度が低すぎると内容物が乾燥して硬くなることがあります。エアレータ・バーを押し引きして内容物を粉砕してください。水を足して（あるいはトイレを利用して）水分を補ってください。

エアレータ・バーの使用頻度が低い

水を足して（あるいはトイレを利用して）水分を補ってください。エアレータ・バーをより頻繁にご使用ください。

デイリーミックスあるいはコンポスト促進剤（微生物）の追加が不定期

内容物が固まっている可能性があります。園芸用の道具等でサービスパネルの内容物を突き崩してください。毎日の添加物表をご確認ください。

デイリー添加表

添加物*	利用者数 1 日あたり	量/利用者（カップ） 1 日あたり	使用量（カップ） 1 日あたり
デイリーミックス	1	¼	¼
デイリーミックス	2	¼	½
デイリーミックス	3	¼	¾
デイリーミックス	4	¼	1
デイリーミックス	5	¼	1 ¼
デイリーミックス	6	¼	1 ½
デイリーミックス	7	¼	1 ¾
デイリーミックス	8	¼	2
デイリーミックス	9	¼	2 ¼
デイリーミックス	10	¼	2 ½

***デイリーミックスの代替品について**

- お近くの地域でデイリーミックスが手に入りにくい場合（離島や海外等）、代替品として黒土、ピートモス、使用済みのコーヒー豆、カカオの殻、ココナツの皮、杉以外の木屑やおがくず等も使用できます。
- 幅 0.75”/2cm 以下の小さい物をご使用ください。

低水量トイレの問題

水が便器に残っていない

低水量トイレで水が便器に残っていない場合、シーリング交換が必要な可能性があります。

水のバルブ故障

	水のバルブを交換してください。

©2014, Sancor Industries Ltd.

フラッシュスマート VF 特有の問題

これらはフラッシュスマート VF バキュームフラッシュ特有の事項です。

バキューム発生機が止まらない-赤ランプがずっと点いている

バキューム漏れを表します。1.5”自在管全体を点検し、必要に応じて締め、プラスチックフィッティング接続部の漏れを確認しましょう。漏れがあった場合は溶剤セメントで埋めてください。便器のシーリングを点検してください。堆積物は液体せっけんで拭き取ってください。

便器の水量が多すぎる - 本来は 0.2L/6oz.です。

水量調節部品を確認してください。**付属の水量レギュレータを設置してください。**

バキューム発生機が動作しない壁のスイッチが点灯しない

電源を確認してください。バキューム発生機のスイッチがオンになっているか確認してください。

便器から水が流れる

便器トラップがきちんと閉まらない便器のシーリングの清掃あるいは交換が必要です。

便器に水が常に溜まり続ける

砂あるいは堆積物が供給水に混じっている可能性があります。堆積物フィルタを設置してください。トイレのソレノイドバルブを清掃してください。

便器から水が流れる

便器トラップがきちんと閉まらない便器のシーリングの清掃あるいは交換が必要です。

トイレが流れないバキューム発生機が稼働しない

1.5”自在管が詰まっています。詰まり取りのワイヤで掃除するか、自在管を交換してください。

コンポストのトラブル

コンポスト（堆肥化）は自然現象です。Envirolet®はコンポストが行われる環境を整えます。

コンポストが正常に行われない場合の解決法は多くの場合単純です。

コンポストが正常に行われていない可能性を疑う要因:

- 湿っぽい、または泥っぽい塊
- 粘土状の塊
- 虫がわく
- 強い臭気を発している
- 内容物が固まる

コンポストには酸素・熱・水分が必要です。庭の花壇を世話するように接しましょう！

コンポストには時間がかかります！

乾きすぎている

システムに水をふりかけてください。

添加物が足りないか、膨張する材料を添加した

ピートモス、コンポスト促進剤、その他推奨される添加物を追加してください。

ファン動作不良

ファンの動作不良は酸素不足を招きます。ファン動作不良の章をご確認ください。

化学薬品やその他有害物質がシステムに混入した

有害物質の追加を直ちに止めてください。被害が著しい場合はシステムの中身を完全に空にして再スタートする必要があることがあります。

熱不足

コンポストと蒸発には熱が必要です。ヒーター（および温度計）を確認し、コンポストのある場所の断熱・暖房、床暖房等を行ってください。室温は 18°C (64°F)以上を保ってください。温かい方が良い結果になります。

蒸発不足

電気部品（ファン、ヒーター、その他）と排気システムを点検し、サービスパネルの通気が確保され、阻害されていないことを確認してください。コンポストユニットのある部屋や小屋がきちんと換気されていることを確認してください。

高負荷

規格容量を守ってご使用ください。

内容物が固まる

©2014, Sancor Industries Ltd.

	園芸用品等で突き崩してください。添加剤を追加してください。
虫害 コンポストは自然の微生物を利用した自然現象であり、熱と水分を加えることで昆虫にとっても住みやすい環境になる。この文は正しいでしょうか？ 正しいとも正しくないとも言えます！虫がわいて困っている場合の対処法は簡単です！幸いなことに、虫がわいたとしてもトイレにまで侵入することはごくまれです。	**虫がどうやって入り込むか** 多くの場合、（網戸のない窓や開口部、ドアなどから）屋内に偶然入り込んだ虫がシステムに侵入します。オーガニック製品（ピートモス）などについている場合や、システムに生ごみを混ぜ込んだことで入り込むこともあります。1匹でも入り込めば、あっという間に繁殖します。虫やその卵はピートモスについている場合があります。 珪藻土やその他のオーガニック殺虫剤をご使用ください。プール用品店や園芸用品店で購入できます。黄色がかった白い粉末です。3-5日間連続でコンポストユニットの表面に珪藻土をたっぷり振りかけてください。2-3日後には除虫できているはずです。屋内外用Raid等のスプレー缶タイプの殺虫剤は蝿等の飛ぶ虫により有効です。少量をスプレーする程度であればシステムにとって害にはなりませんが、大量に撒くと堆肥化を阻害することがあります。
設置の問題や誤った設置 設置時の「間違い」によって上記のトラブルを招くことがあります。 必ず正しい手順でシステムを設置してください。本章では後に問題につながる可能性のある、よくある設置「間違い」や「勘違い」等を紹介します。 **重要** **取扱説明書の手順を省略する、別のやり方で代替する等の「近道」はなるべくしないでください。**	**排気** • **排気口を 90°に折り曲げないでください。この事項は取扱説明書全体に渡って複数回書かれています。** 　o 蒸発プロセスに著しい障害をもたらします。 • システムに付属している排気パイプ以外のパイプを使用しないでください。 　o 付属のパイプとサイズや材質が異なることで蒸発プロセスに障害が発生することがあります。 　o 金属のパイプは腐蝕する可能性があります。 　o 差込口に合わない可能性があります。 • 排気口に網戸やスクリーンメッシュ、カバーなどをかぶせないでください。 　o 蒸発プロセスに著しい障害をもたらします。 　o ウィンドタービン・ベンチレータに付属するキャップ以外のキャップや弁を使用しないでください。 • 無水独立システムの排気口は屋外、屋根裏、その他気温の低い場所はきちんと断熱・保温してください。 **排水** • 排水はないがしろにしないでください！システムに含まれる場合は必ず接続してください。**トイレから汚水処理場までの全域にわたって重力供給によって（高い位置から低い位置に）取り付けてください。**

注意

システムメンテナンスメモを下に追加してください。

利用者の声

設置写真を添えたご感想「利用者の声」を Envirolet Buzz まで是非お寄せください。弊社ウェブサイトから付属品や商品券の無料プレゼントがあります。設置写真と感想メール宛先：buzz@enviroletbuzz.com. enviroletbuzz.com の Envirolet Buzz で最新情報や多くの方の感想をご覧ください。

細則

システム仕様は予告なく変更する場合があります。最新の仕様＆メンテナンス情報についてはお問い合わせください。
Envirolet®Envirolet.com®および Envirolet.ca®は Sancor Industries Ltd.の登録商標です。Santerra Green™、Sancor™、Automatic Six-Way Aeration™は Sancor Industries Ltd の登録商標です。本取扱説明書は©2014, Sancor Industries Ltd.の著作物です。無断転載を禁じます。